

2013年8月期 第2四半期決算説明会

株式会社コシダカホールディングス

2013年4月18日



会社概要 3

組織図 4

2013年8月期 第2四半期連結業績 5

決算概要 6

連結損益計算書 7

科目・指標別業績 8

連結貸借対照表 16

連結キャッシュフロー計算書 17

2013年8月期 第2四半期セグメント別業績 18

売上構成 19

カラオケ事業 20

カーブス事業 26

温浴事業 33

今後の戦略 37

Question 1 38

Question 2 40

Question 3 44

株主還元 46

株主優待 47

配当政策 48

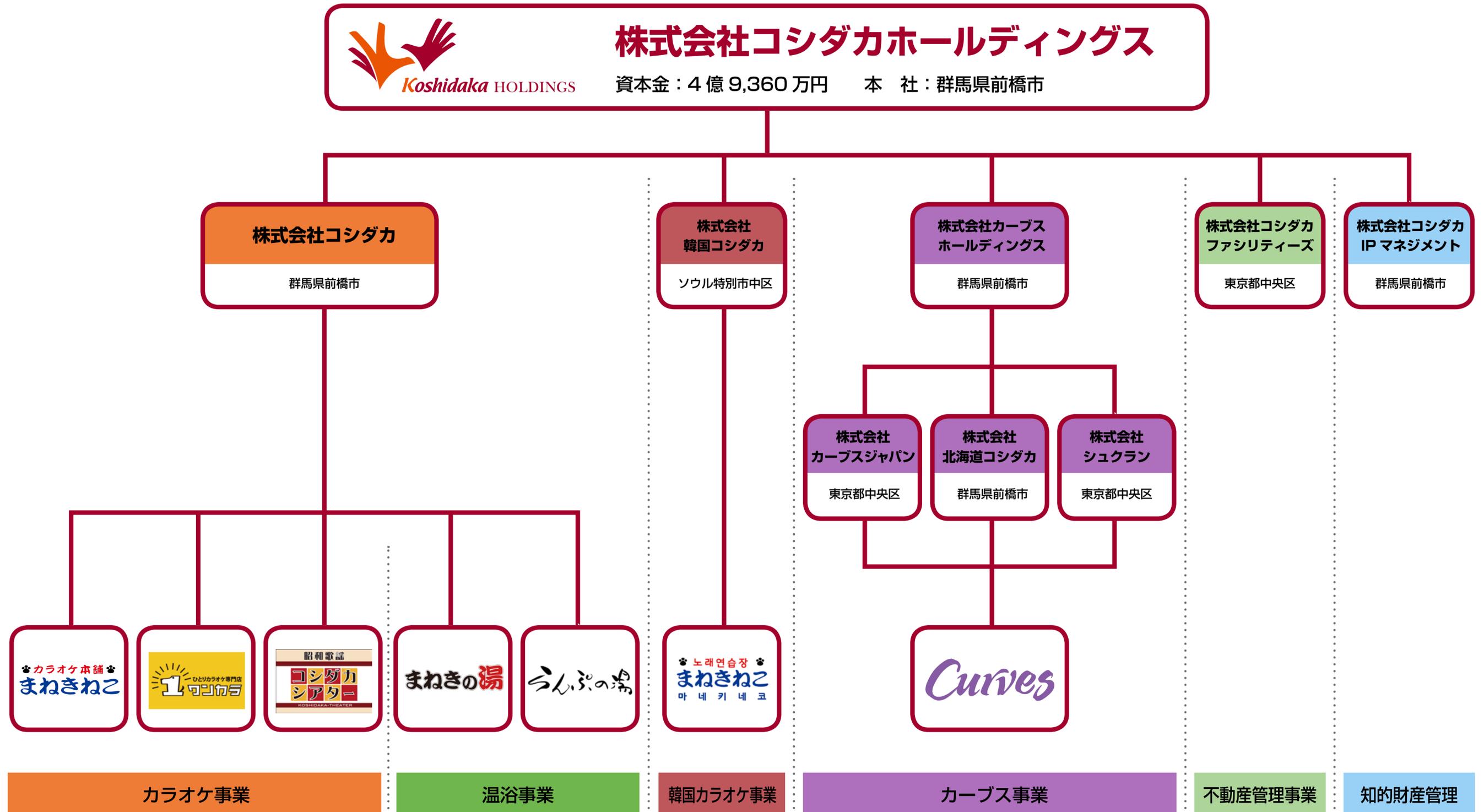
コシダカグループの目指すもの 49

ご注意・お問い合わせについて 51

会社名	株式会社コシダカホールディングス (KOSHIDAKA HOLDINGS CO., LTD)
事業内容	事業会社の支配・管理、および当社グループにおける事業開発等
設立	1967年3月
本社	群馬県前橋市大友町1丁目5-1
資本金	4億9,360万円
従業員数	グループ全体 2,699名(2013年2月末)
グループ会社	<カラオケ事業> 株式会社コシダカ／株式会社韓国コシダカ <カーブス事業> 株式会社カーブスホールディングス／株式会社カーブスジャパン／ 株式会社北海道コシダカ／株式会社シュクラン <不動産管理事業> 株式会社コシダカファシリティーズ <知的財産管理> 株式会社コシダカ IP マネジメント

経営理念

私達の使命は、進化させた有意なサービス・商品を常に考案し、
そして全世界の人々に提供し続けることによって、
豊かな余暇生活の実現と希望に溢れた平和な世界の構築に貢献することである



2013年8月期

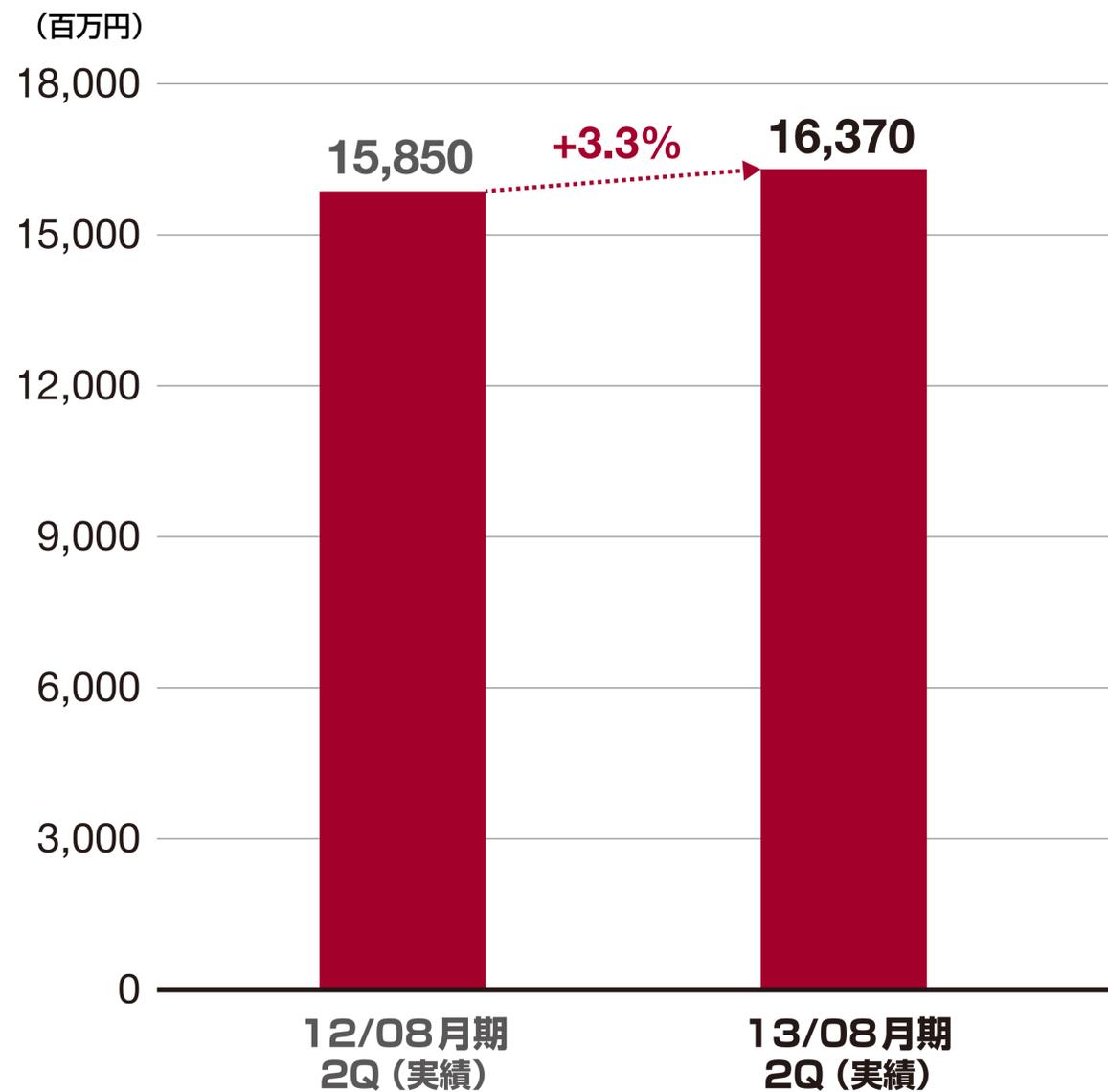
第2四半期

連結業績

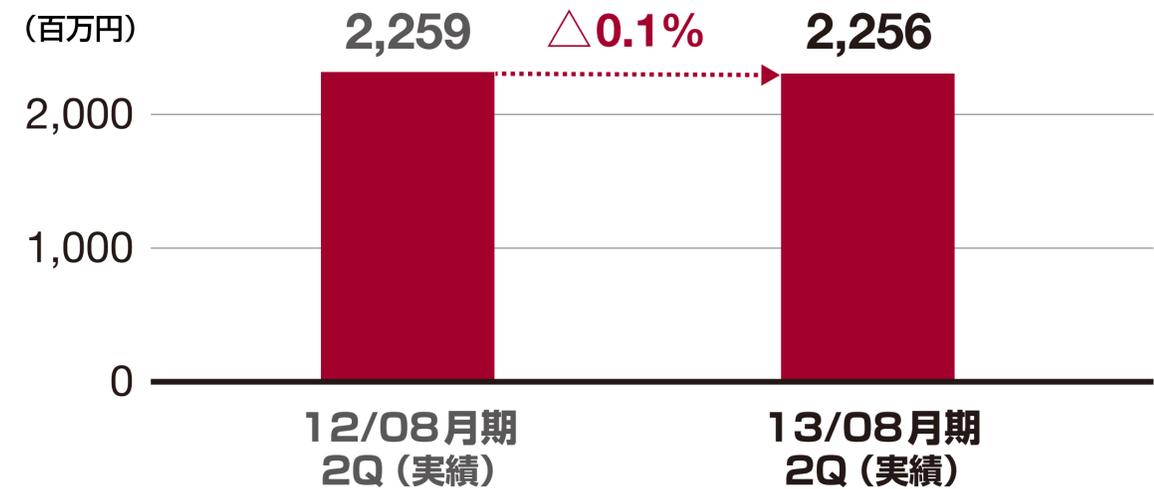
連結業績

カーブス事業の躍進により、前年並売上高・利益を確保。

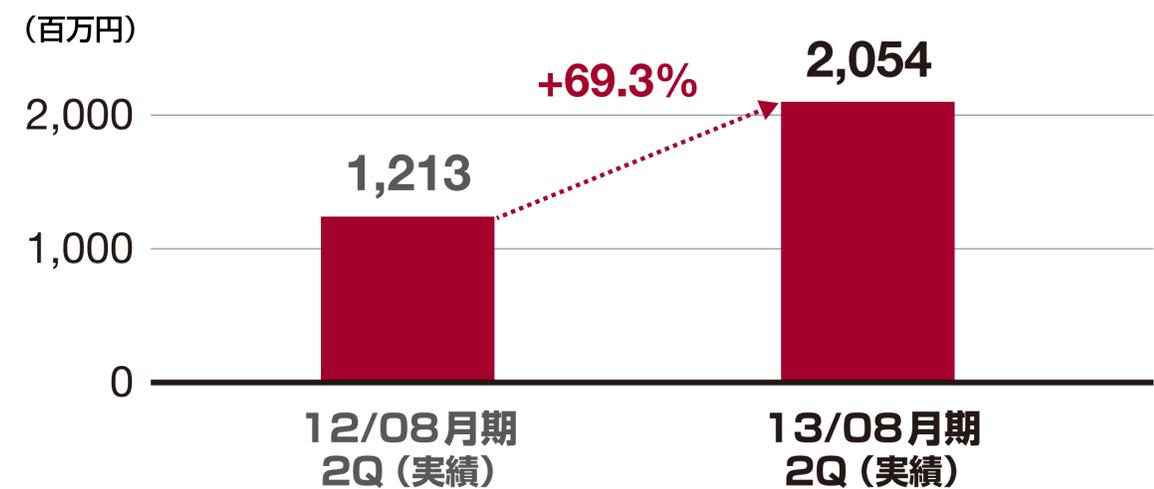
売上高



経常利益



当期純利益

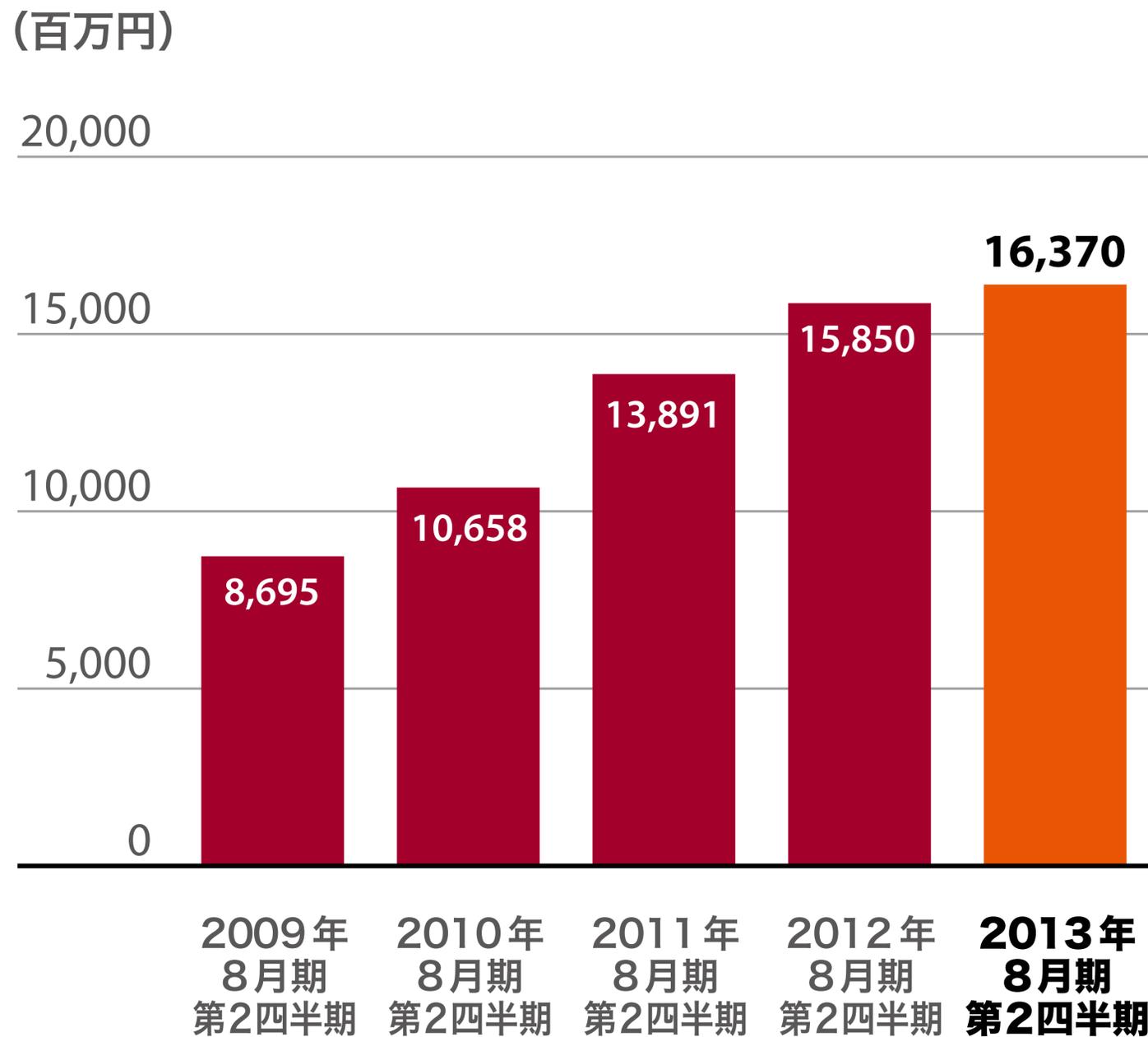


(百万円)

	2012年 8月期 第2四半期	2013年 8月期 第2四半期	前年同期比		(参考) 計画比 2013年1月10日発表	
			比率	増減額	比率	増減額
売上高	15,850	16,370	103.3%	520	95.0%	△ 868
売上原価	11,181	11,611	103.9%	430	—	—
売上総利益	4,668	4,758	101.9%	90	—	—
販売管理費	2,421	2,567	106.0%	146	—	—
営業利益	2,247	2,191	97.5%	△ 56	100.7%	16
経常利益	2,259	2,256	99.9%	△ 3	102.5%	54
特別利益	14	1,537	10,766.8%	1,523	—	—
特別損失	52	249	471.0%	197	—	—
四半期純利益	1,213	2,054	169.3%	841	184.7%	942

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

固定資産の譲渡により、特別利益が発生。
特別損失は、おもにカラオケ事業における減損の計上による。



売上高

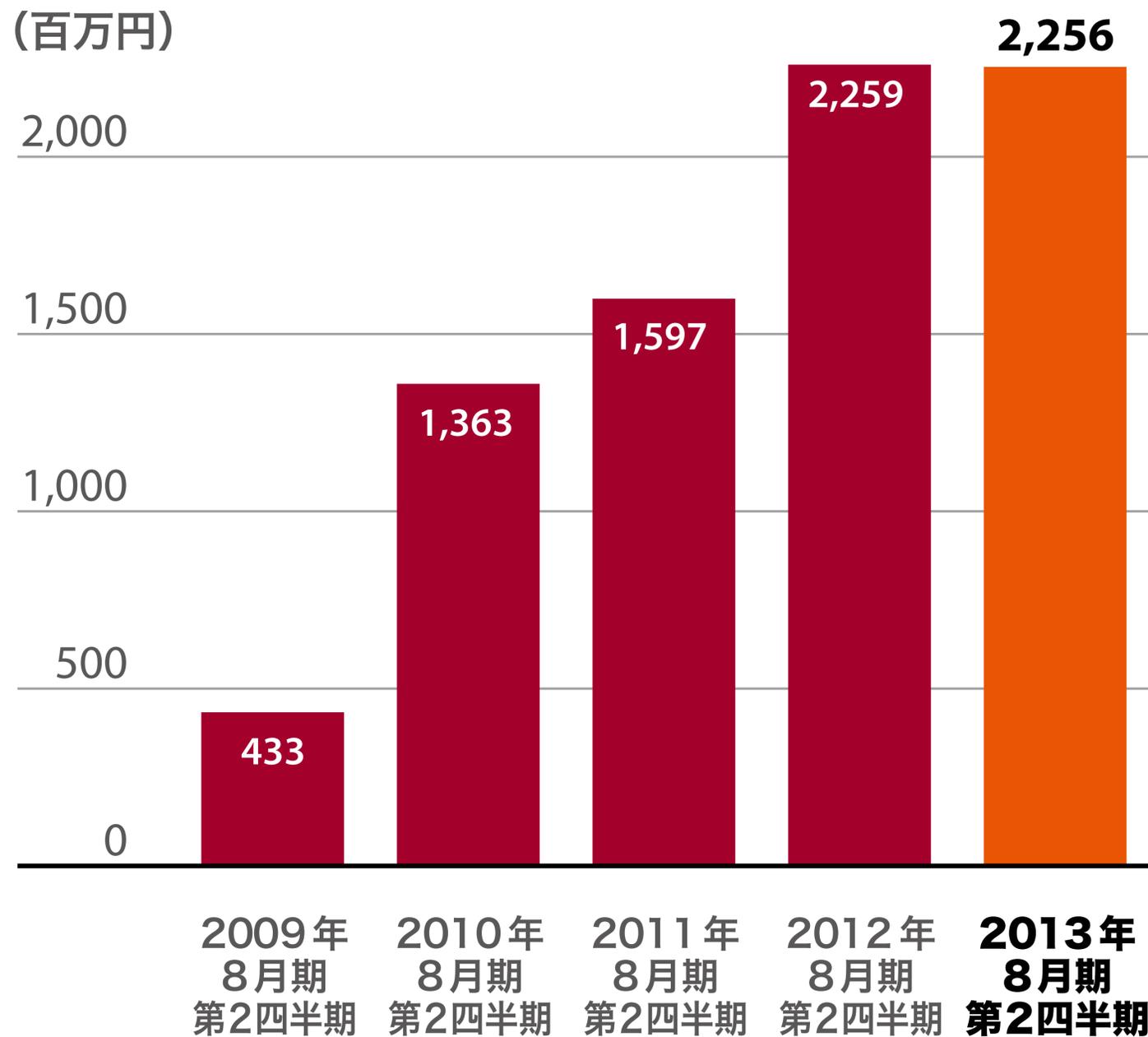
(第2四半期)

163 億円

※1億円未満切捨て

6期連続 過去最高

※百万円未満切捨て



経常利益

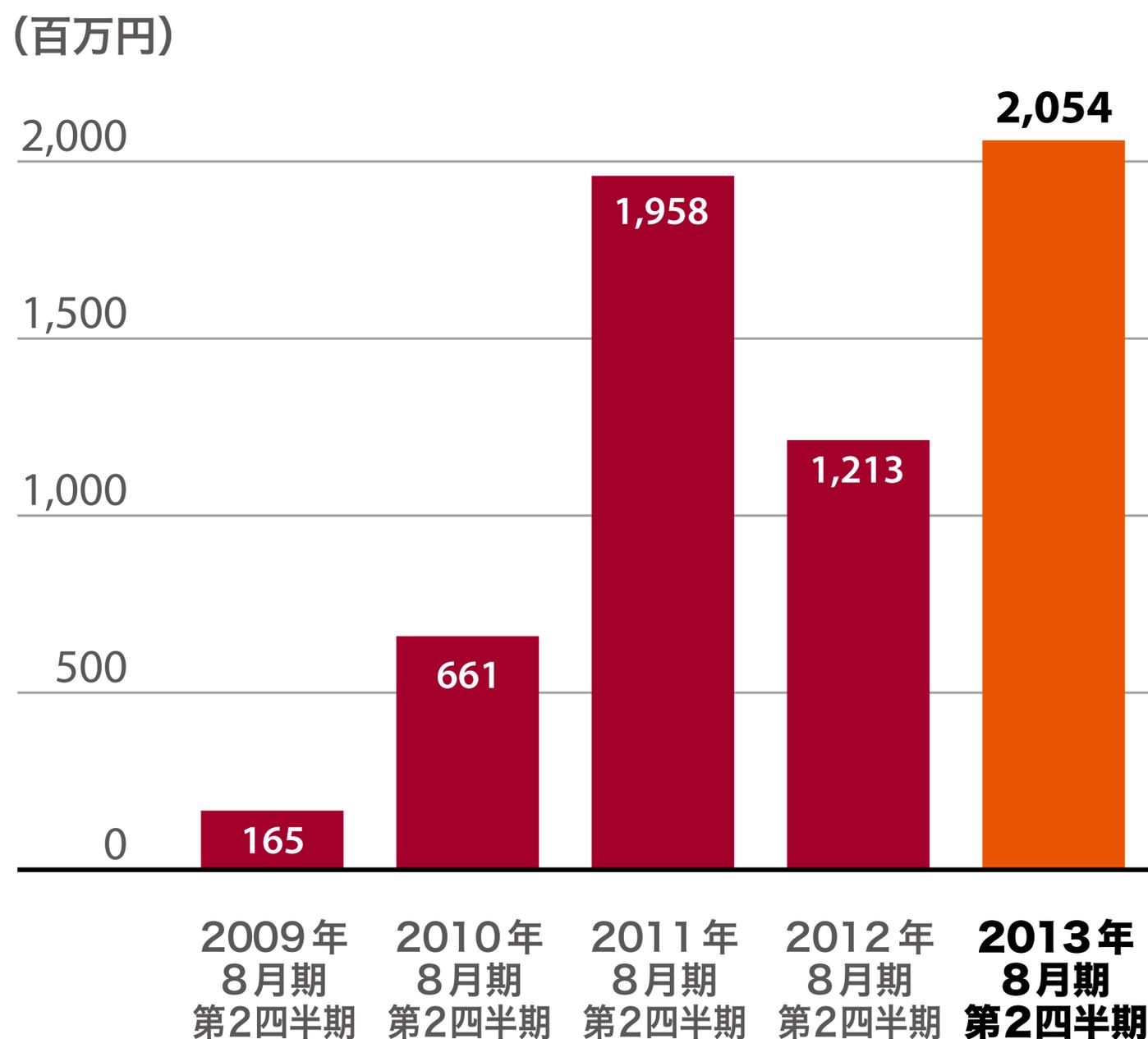
(第2四半期)

22 億円

※1億円未満切捨て

前年並み利益 を確保。

※百万円未満切捨て



当期純利益

(第2四半期)

20 億円

※1億円未満切捨て

上半期 過去最高益

※百万円未満切捨て

カラオケ・フィットネス・温浴関連業界時価総額ランキング

2013年3月29日終値ベース

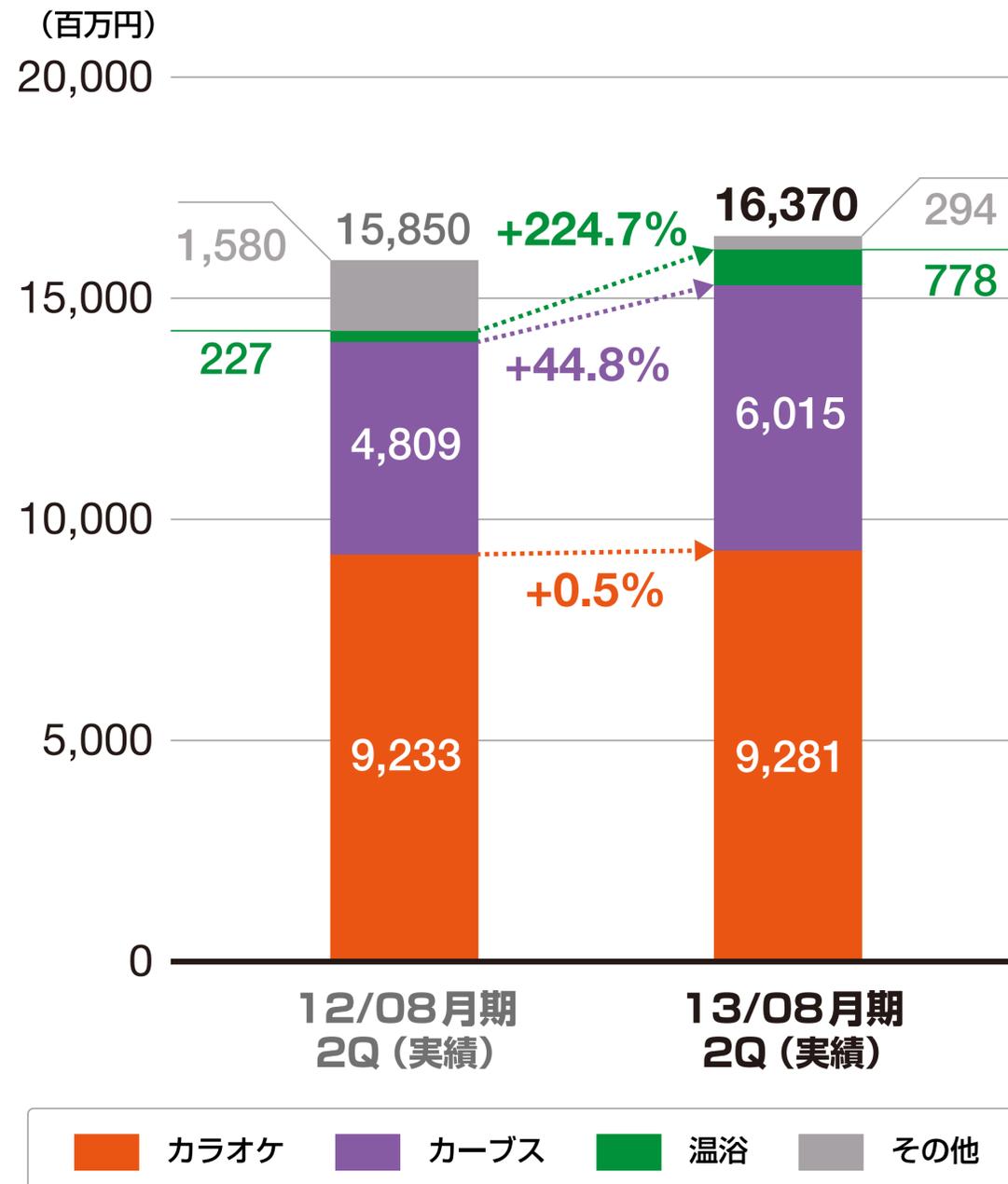
		時価総額 (百万円)	発行済株式数 (千株)	株価 (円)
1	コナミ	271,932	143,500	1,895
2	第一興商	150,686	59,725	2,523
3	AOKI HD	114,153	45,624	2,502
4	ラウンドワン	64,907	95,452	680
5	コシダカ HD	29,712	9,600	3,095
6	東祥	22,236	18,392	1,209
7	シダックス	20,172	40,918	493
8	セントラルスポーツ	17,600	11,466	1,535
9	ルネサンス	15,670	21,379	733
10	ウチヤマ HD	10,747	4,632	2,320
11	メガロス	5,398	3,847	1,403
12	極楽湯	3,239	11,529	281
13	鉄人化計画	2,718	33	81,300

**時価総額
300億円
企業へ。**

※各社の開示資料を基に当社作成

売上高前年同期比と進捗状況

売上高前年同期比

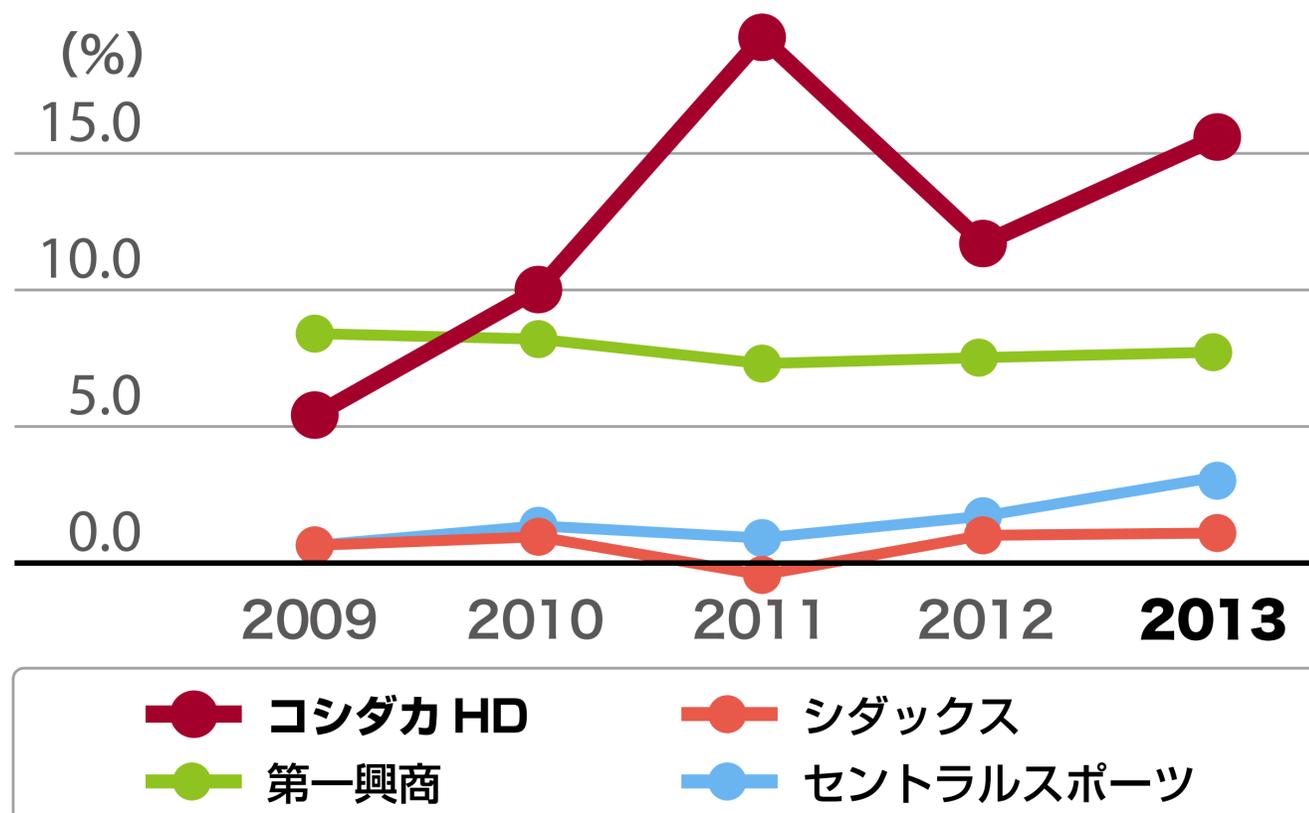


進捗状況

(百万円)

	2012年 8月期 第2四半期	2013年 8月期 第2四半期	今期計画
連結売上高	15,850	16,370	35,954
カラオケ	9,233	9,281	20,197
カーブス	4,809	6,015	13,106
温浴	227	778	2,075
その他※	1,580	294	576

※ 2012年8月期の「その他」には、ボウリング事業を含んでおります。



ROA

(通期)

資産を有効活用

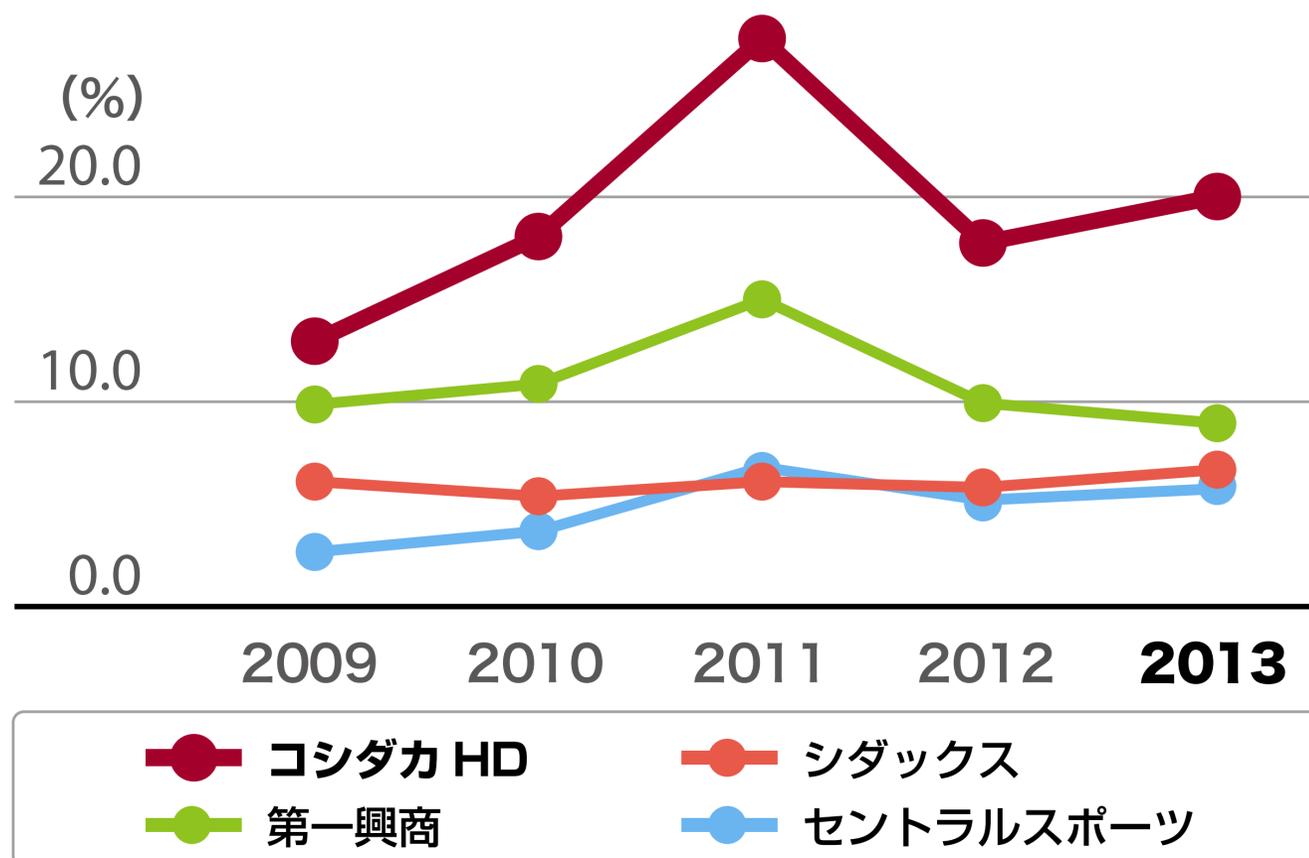
(百万円)

	2012 当期純利益	2013(予) 当期純利益	総資産			ROA (%)				
			2012期首	2012期末	2013 第2四半期末	2009	2010	2011	2012	2013 (予)
コシダカ HD	2,279	3,400	18,454	20,043	21,826	5.2%	10.0%	18.9%	11.8%	15.6%
シダックス	781	1,000	97,935	89,679	87,604	0.5%	0.8%	△0.7%	0.8%	1.1%
第一興商	10,689	12,000	137,447	142,238	153,363	8.7%	8.6%	7.3%	7.6%	7.8%
セントラルスポーツ	861	1,170	41,896	40,761	38,589	0.5%	1.5%	1.0%	2.1%	3.0%

※各社の開示資料を基に当社作成

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

※総資産利益率 (ROA) = 当期純利益 / 期首期末平均総資産



ROIC

(通期)

高効率経営

(百万円)

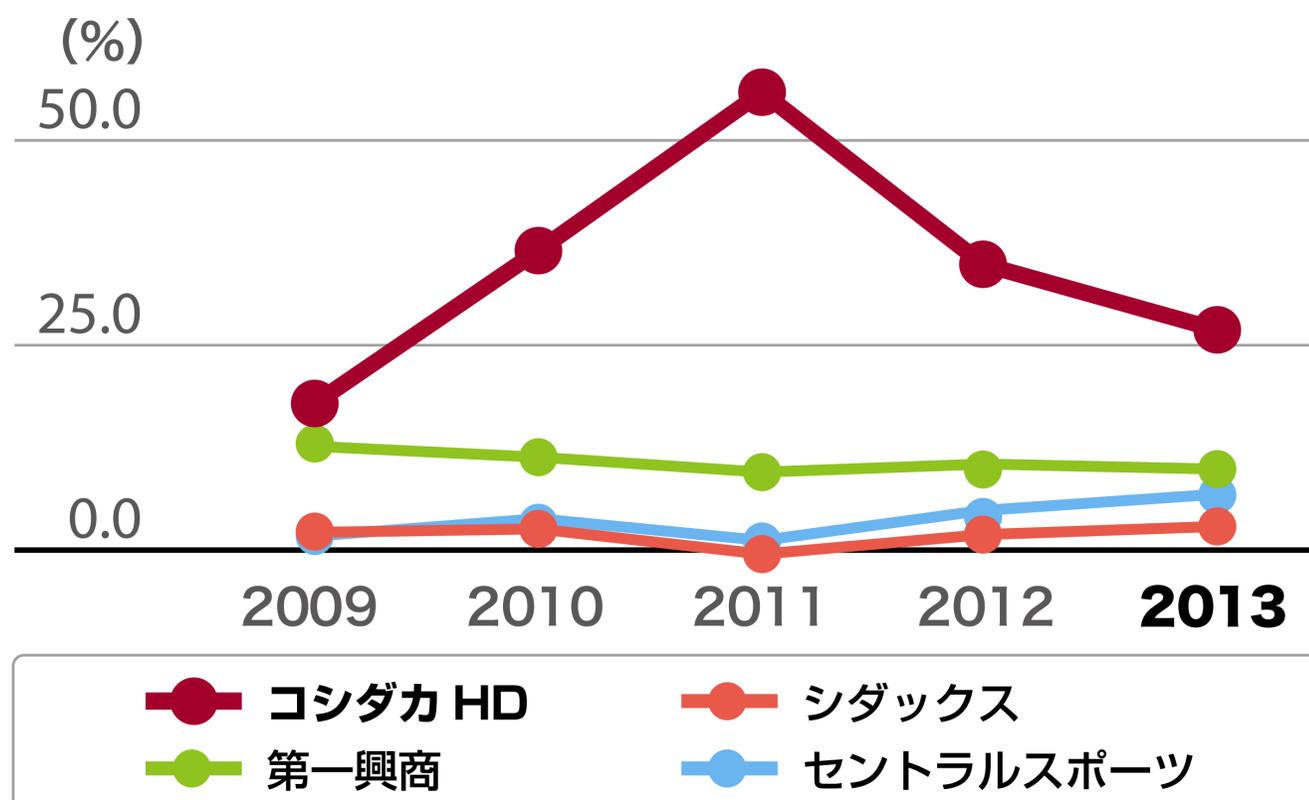
	2012 営業利益	2013(予) 営業利益	株主資本／有利子負債			ROIC (%)				
			2012期首	2012期末	2013 第2四半期末	2009	2010	2011	2012	2013 (予)
コシダカ HD	4,077	4,950	6,308	8,004	9,887	12.6%	18.9%	28.6%	18.5%	20.2%
			5,516	5,251	4,828					
シダックス	5,890	7,000	20,012	20,351	20,524	6.8%	5.8%	6.9%	6.4%	7.7%
			40,783	34,827	33,709					
第一興商	18,774	18,800	87,934	92,826	94,788	9.9%	10.6%	15.0%	9.9%	9.1%
			22,296	20,558	29,675					
セントラルスポーツ	2,420	2,970	13,475	14,136	14,826	2.2%	3.7%	7.7%	5.1%	6.5%
			16,440	14,407	12,455					

※各社の開示資料を基に当社作成

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

※投下資本利益率 (ROIC) = 営業利益 (1 - 税率) / 期首期末平均株主資本・有利子負債

※税率は40%として算出 ※有利子負債: 短期借入金、一年内返済長期借入金、一年以内償還社債、長期借入金、社債の合計額。受取手形割引高、リース債務は含んでいない。



ROE

(通期)

高い収益力

(百万円)

	2012 当期純利益	2013(予) 当期純利益	自己資本			ROE (%)				
			2012期首	2012期末	2013 第2四半期末	2009	2010	2011	2012	2013 (予)
コシダカ HD	2,279	3,400	6,305	8,004	9,865	20.5%	35.3%	57.6%	31.9%	26.6%
シダックス	781	1,000	20,678	20,351	20,524	2.3%	3.9%	-	3.8%	4.9%
第一興商	10,689	12,000	87,083	92,826	94,788	14.5%	13.3%	11.3%	11.9%	12.7%
セントラルスポーツ	861	1,170	13,297	13,937	14,622	1.7%	4.9%	3.3%	6.3%	8.0%

※各社の開示資料を基に当社作成

※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

※自己資本利益率 (ROE) = 当期純利益 / 期首期末平均自己資本

連結貸借対照表

(百万円)

	2012年 8月期末	2013年 8月期 第2四半期	増減額
資産の部 (合計)	20,043	21,821	1,778
流動資産	7,406	11,885	4,479
固定資産	12,637	9,935	△ 2,702
負債の部 (合計)	11,760	11,605	△ 155
流動負債	7,241	7,854	613
固定負債	4,518	3,751	△ 767
純資産の部 (合計)	8,283	10,215	1,932
株主資本	8,006	9,887	1,881
その他の包括利益累計額	△ 2	△ 22	△ 20
小数株主持分	279	350	71
負債・純資産合計	20,043	21,821	1,778

(百万円)

資産の部 (主な内訳)		
流動資産	現金及び預金	8,656
	受取手形及び売掛金	1,192
	商品	569
固定資産	有形固定資産	6,319
	無形固定資産	1,188
負債の部 (主な内訳)		
流動負債	支払手形及び買掛金	1,067
	1年以内返済予定の長期借入金	1,206
	未払法人税等	1,655
	預り金	1,154
固定負債	社債	1,680
	長期借入金	1,702
純資産の部 (主な内訳)		
	資本金	493
	資本剰余金	483
	利益剰余金	9,210

※百万円未満切捨て

(百万円)

	2012年 8月期 第2四半期	2013年 8月期 第2四半期	主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,789	2,391	<ul style="list-style-type: none"> ○税金等調整前当期純利益 3,544 ○減価償却費 849 ○のれん償却額 155 ○法人税等支払額 △ 888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,294	2,528	<ul style="list-style-type: none"> ○有形固定資産の取得による支出 △ 652 ○有形固定資産の売却による収入 3,746 ○無形固定資産の取得による支出 △ 468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 637	△ 612	<ul style="list-style-type: none"> ○長期借入による収入 800 ○長期借入金の返済による支出 △ 1,104
現金及び現金同等物の増加額	△ 140	4,314	
現金及び現金同等物の期首残高	4,100	4,308	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,959	8,630	

※百万円未満切捨て

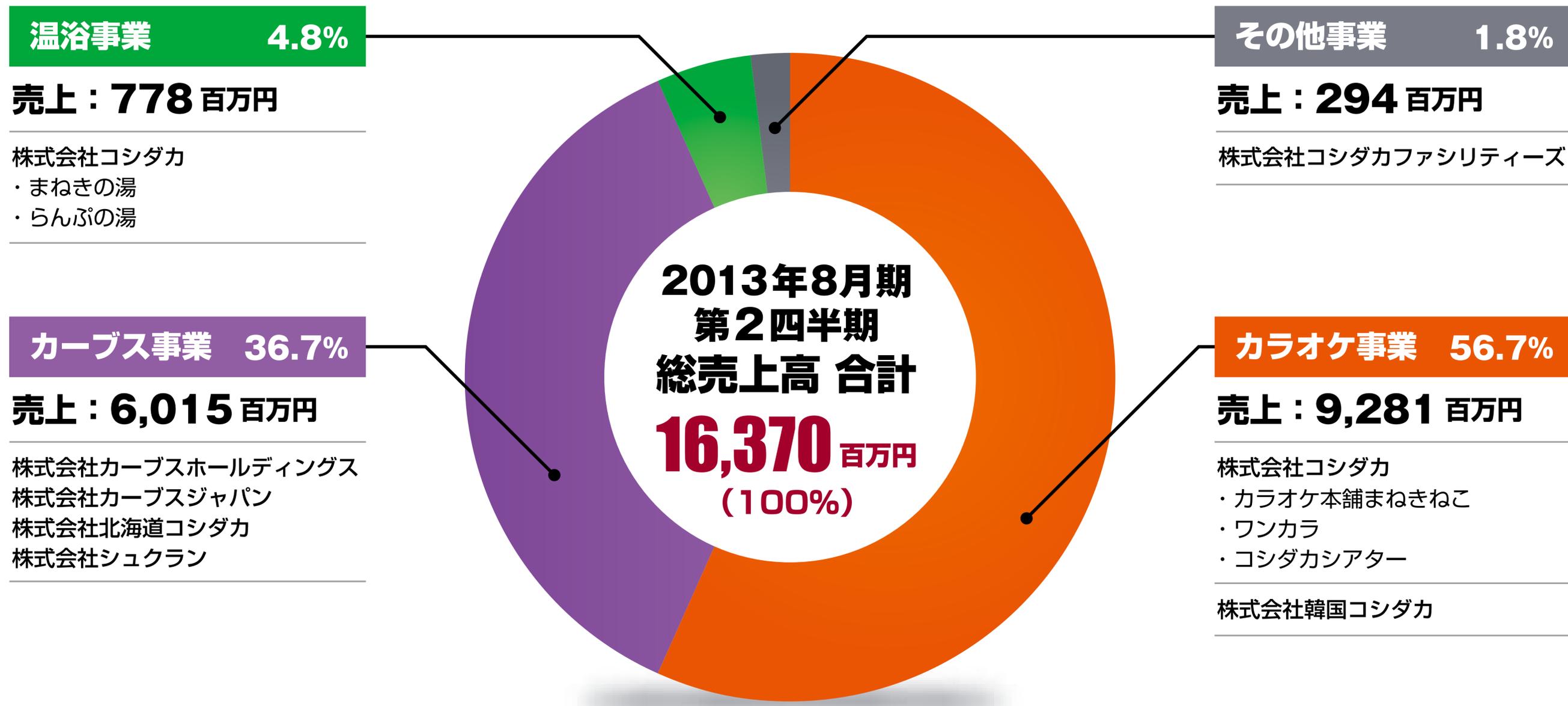
子会社の固定資産譲渡により投資活動によるキャッシュフロー増加。

2013年8月期

第2四半期

セグメント別業績

セグメント別業績



※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

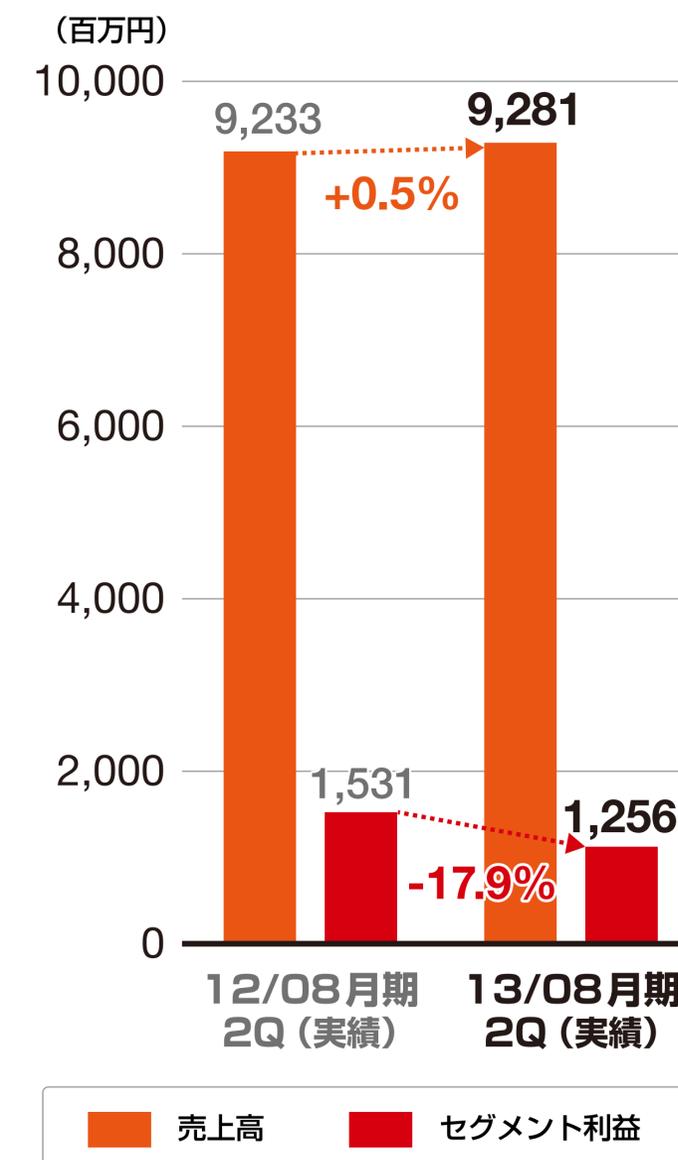
カラオケ事業

2013年8月期 第2四半期

セグメント別業績

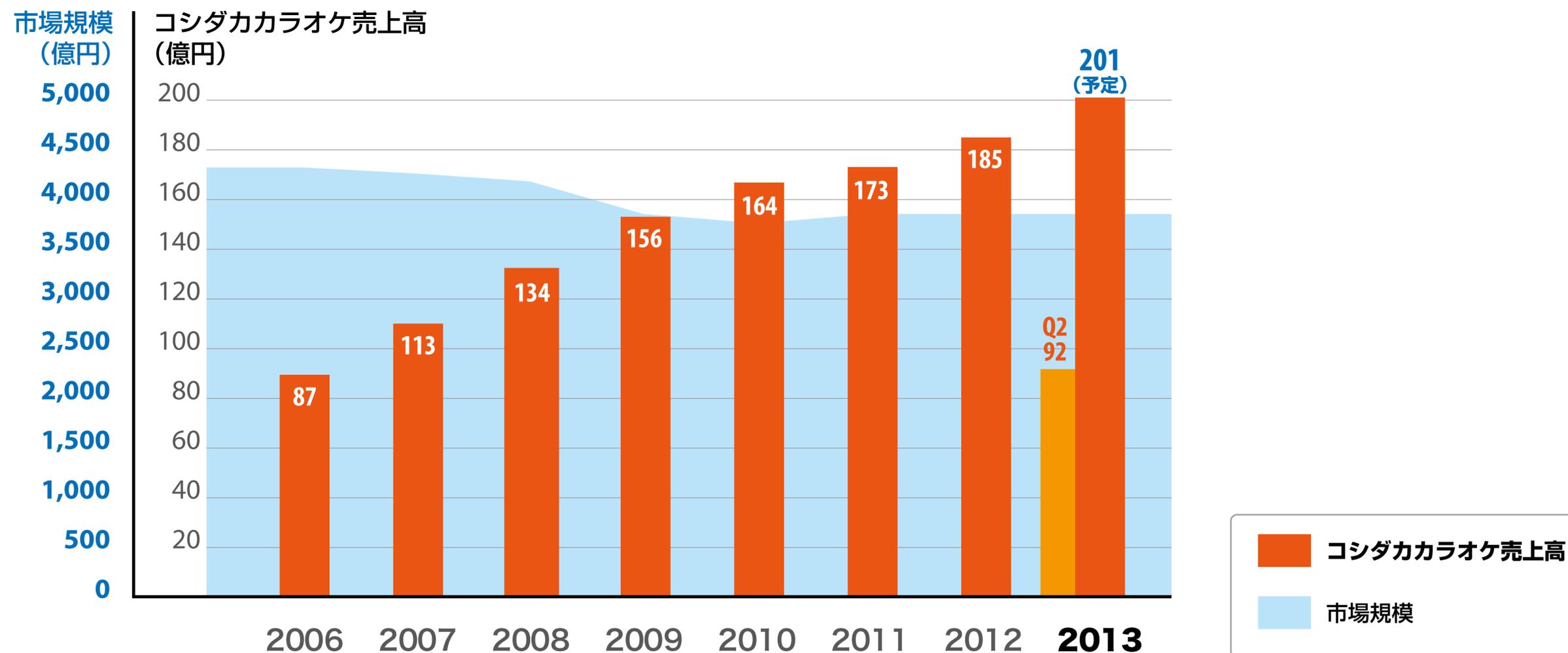
セグメント別業績

	2012年8月期第2四半期		2013年8月期第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	9,233	100.0%	9,281	100.0%	100.5%
売上原価	6,868	74.4%	6,966	75.0%	101.4%
売上総利益	2,365	25.6%	2,315	24.9%	97.9%
販売管理費	833	9.0%	1,058	11.4%	127.0%
セグメント利益	1,531	16.6%	1,256	13.5%	82.0%



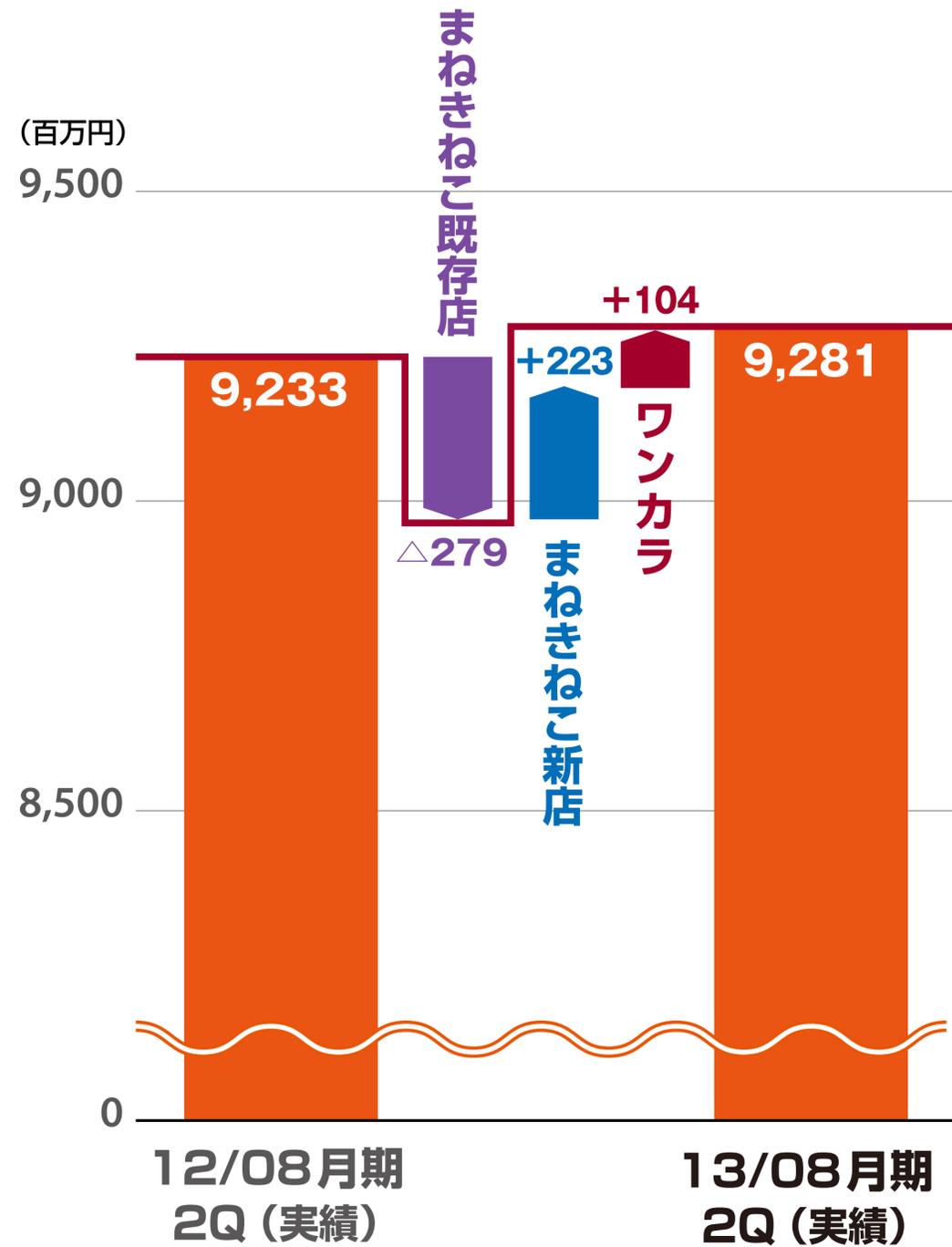
※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

市場伸び悩む中、続伸。

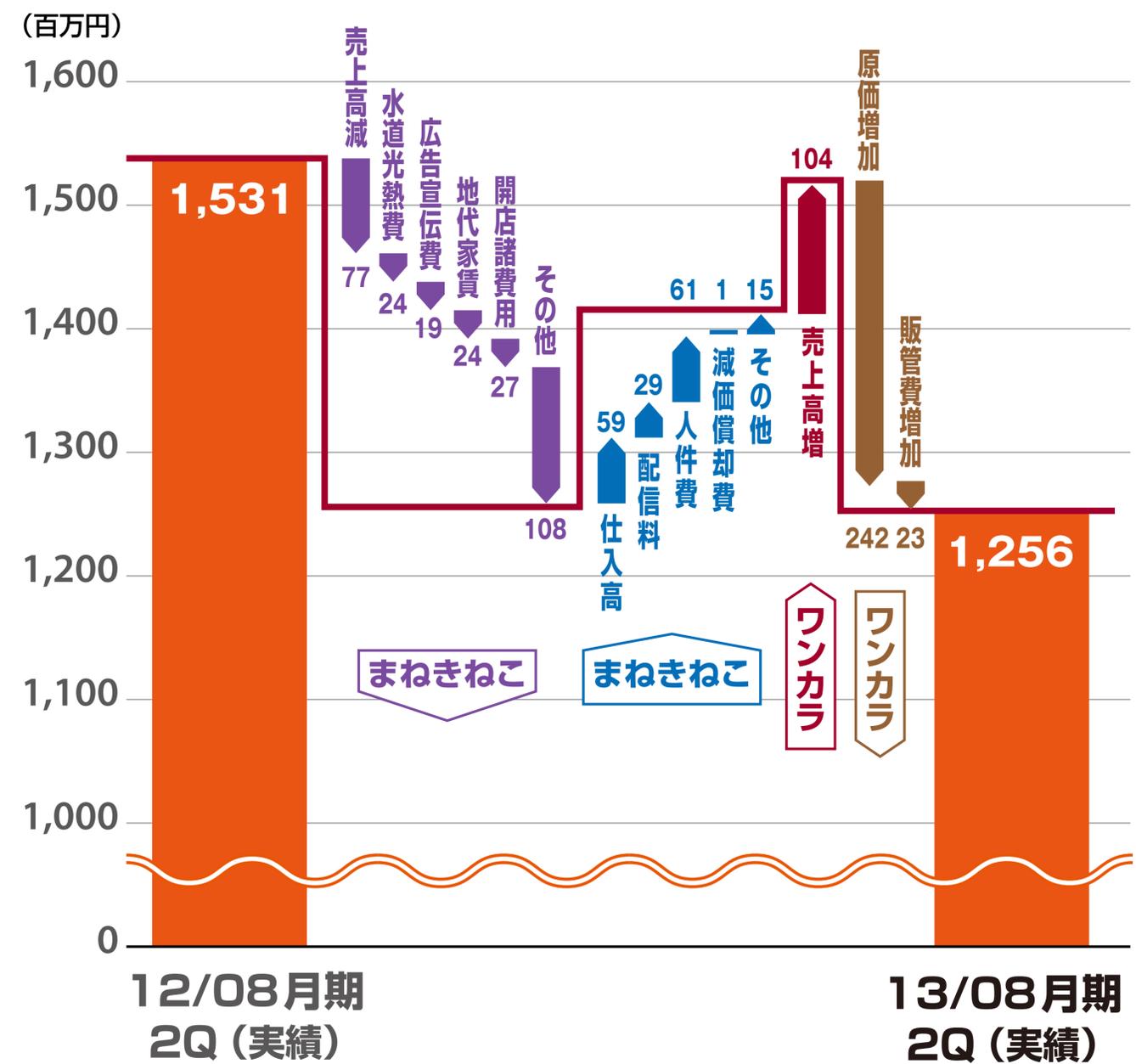


※億円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入
 ※出典：全国カラオケ事業者協会「カラオケ白書 2012」

売上高増減要因

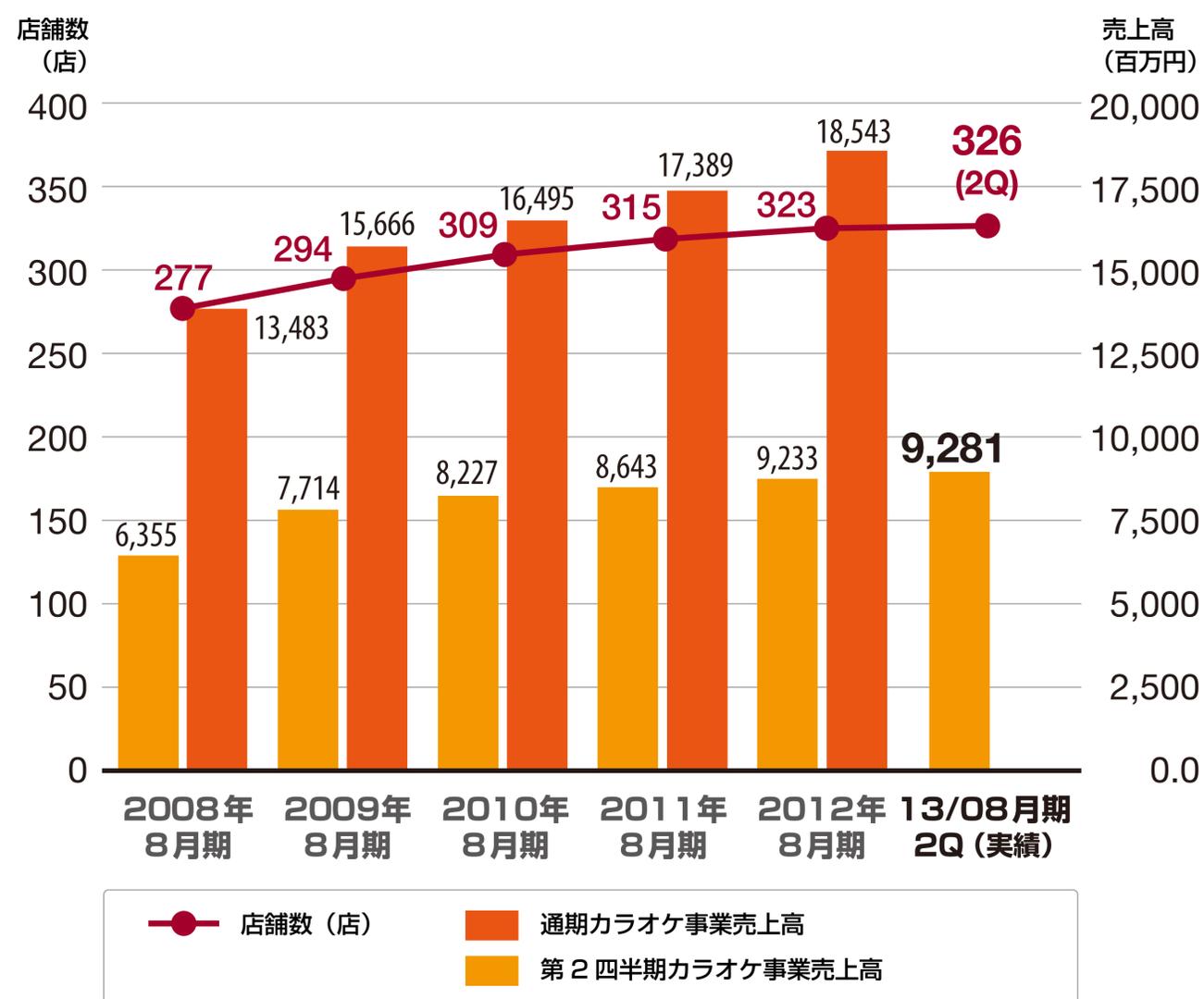


営業利益増減要因



国内最大級の店舗数。

店舗数の推移



	2012年 8月期 第2四半期	2013年 8月期 第2四半期
店舗数 (店)	317	326 [※]
売上高 (百万円)	9,233	9,281
売上総利益 (百万円)	2,365	2,315
販売管理費 (百万円)	833	1,058

昨年を上回る売上高
既存店の売上改善が課題。

※当社国内のカラオケ事業店舗「カラオケ本舗まねきねこ」「ワンカラ」「昭和歌謡コシダカシアター」の合計です。(2013年2月末時点)

カラオケ事業

下期の戦略

1. 居抜き出店の再強化と建築出店の推進

- 過去2年控えていた居抜き出店ペースを加速、建築出店も数店舗予定
- カラオケ店舗数 No.1 を維持

2. 既存店のリニューアル積極化

- 年間30-40店舗を計画（3月末で13店舗実施）売上アップを狙う

3. ワンカラの収益化、FC展開

- 既存店のランニングコスト低下
- 低投資型ニュータイプの確立

4. ノウハウを蓄積して海外出店

- 韓国3号店 OPEN 出店コストを抑える

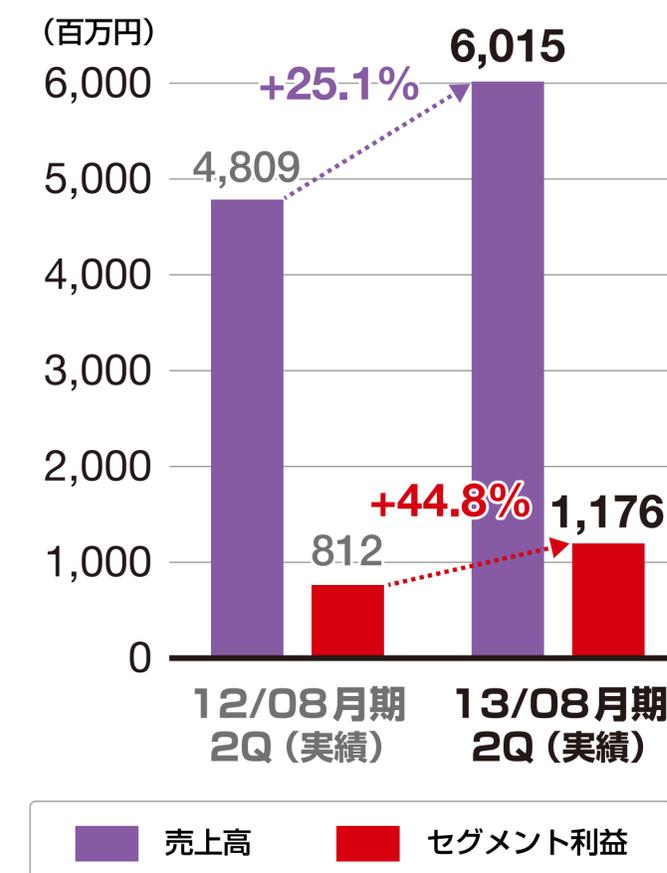
カーブス事業

2013年8月期 第2四半期

セグメント別業績

セグメント別業績

	2012年8月期第2四半期		2013年8月期第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	4,809	100.0%	6,015	100.0%	125.1%
売上原価	2,826	58.8%	3,623	60.2%	128.2%
売上総利益	1,982	41.2%	2,392	39.8%	120.7%
販売管理費	1,169	24.3%	1,215	20.2%	103.9%
セグメント利益	812	16.9%	1,176	19.6%	144.7%

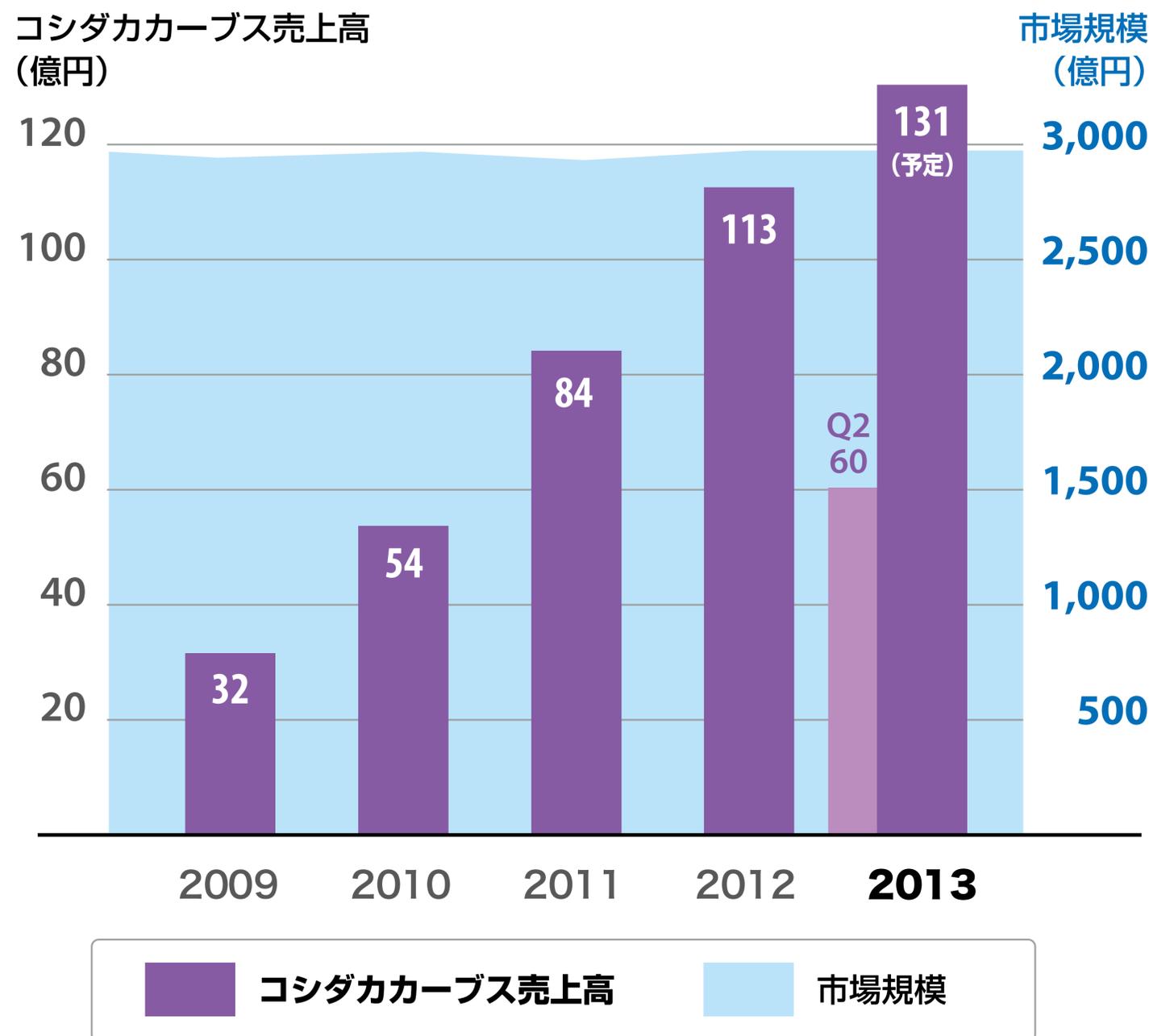


※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

Point

- 増収。大幅増益。
- 好調な出店 • 通販好調

市場の伸びに比べ、高い伸び率。

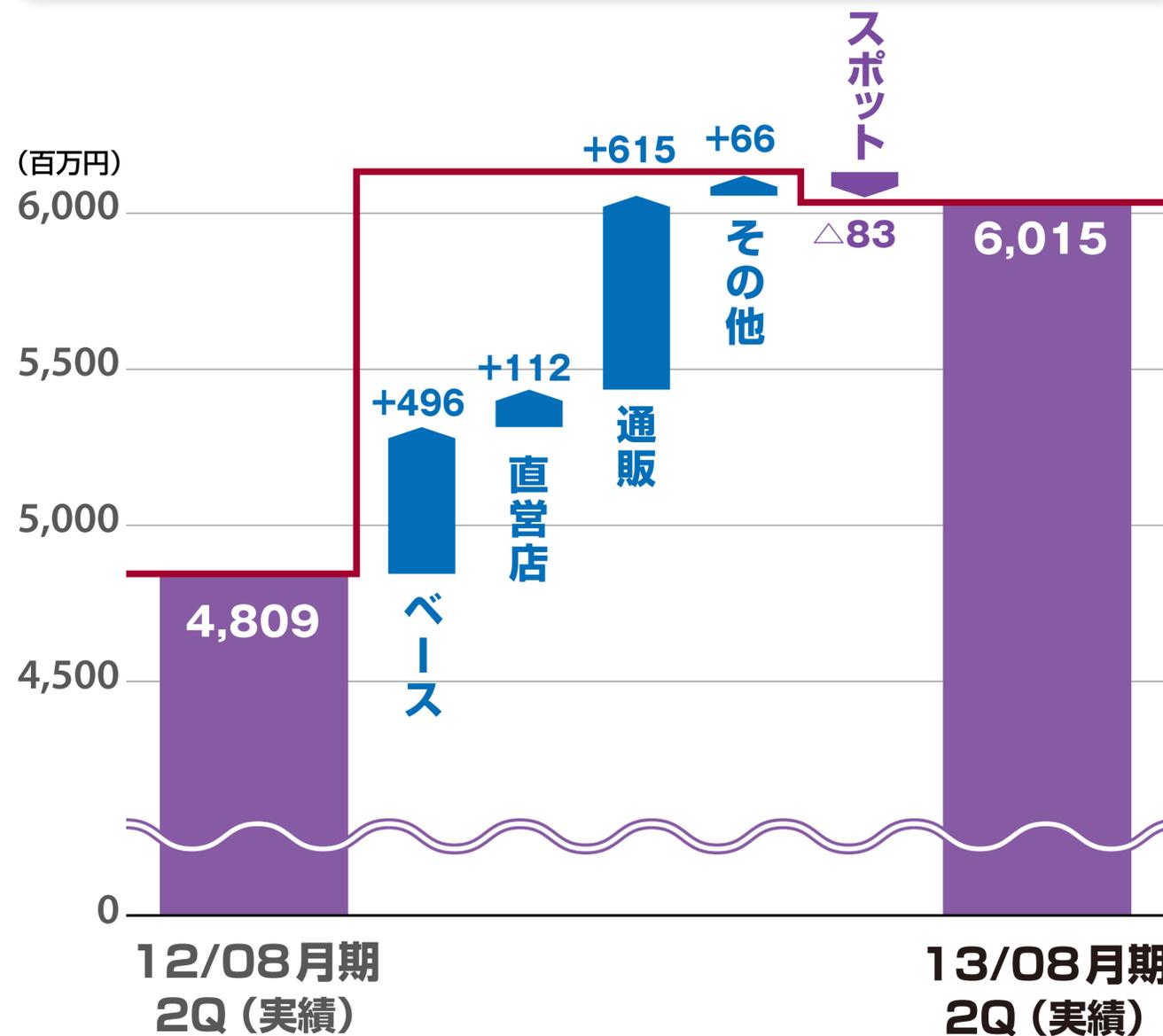


前年同期比
売上高
25.1%増
セグメント利益
44.7%増

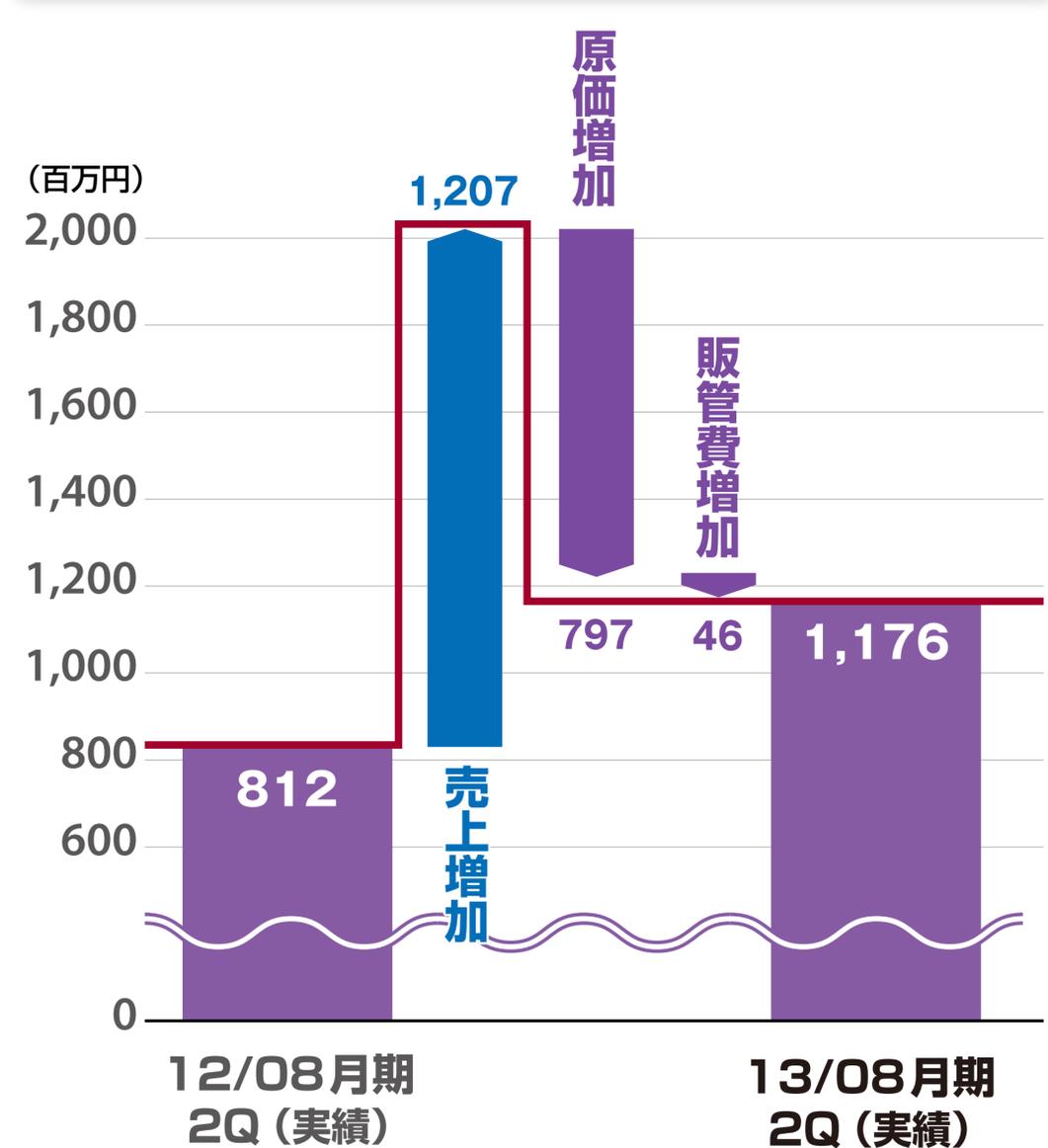
※億円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入
※出典：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」

ベース売上、大幅に伸びる。

売上高増減要因



営業利益増減要因

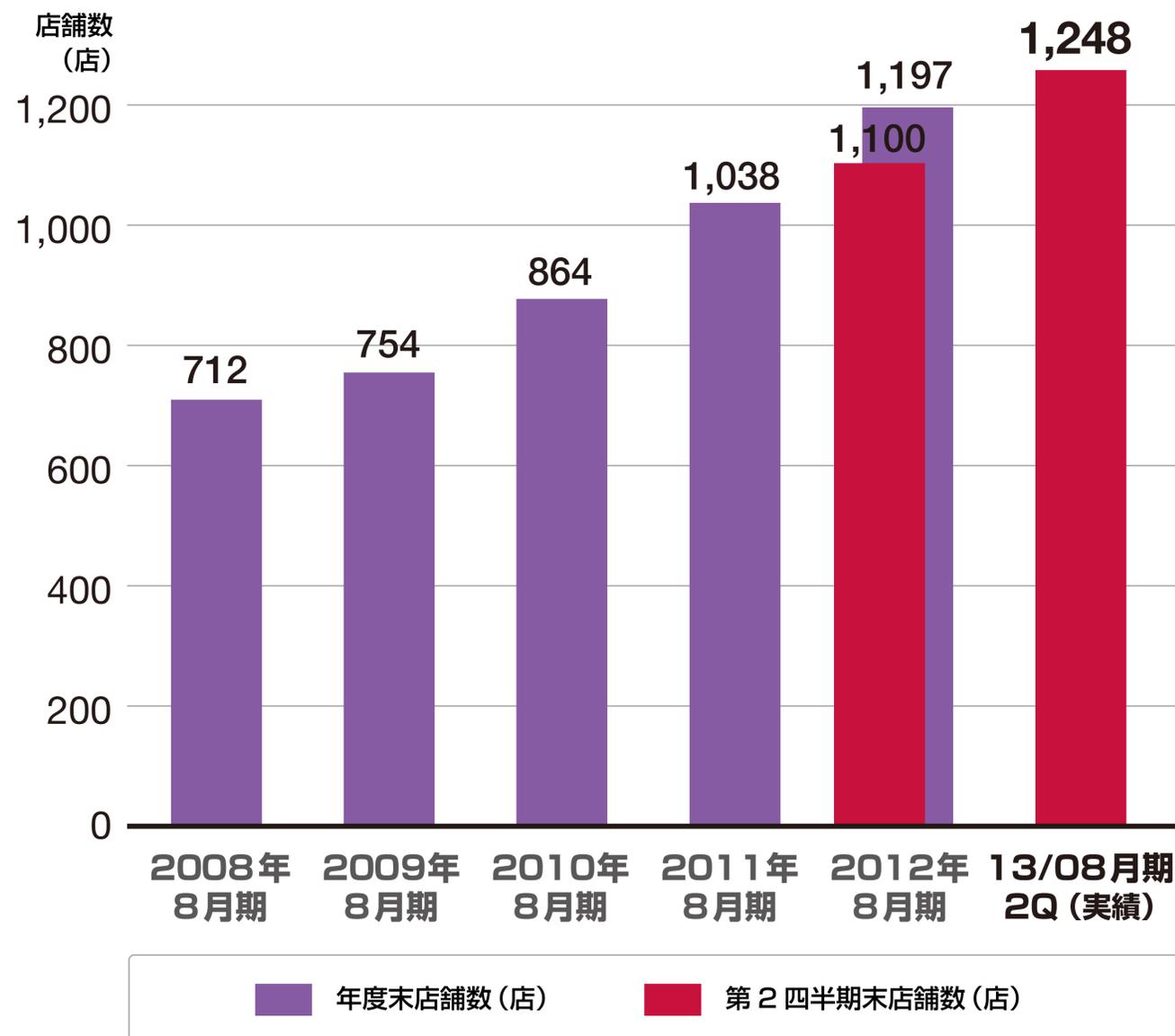


※「スポット」売上 ⇒ 加盟金収入等、店舗出店に関わる一時的な収入。

「ベース」売上 ⇒ ロイヤルティ収入等、継続的な収入。

国内最大店舗数 1,248店。*

店舗数の推移



	2012年 8月期 第2四半期	2013年 8月期 第2四半期
店舗数 (店)	1,100	1,248
店舗数増加率 (%)	17.3	13.5
総会員数 (千人)	424	519
総会員数増加率 (%)	21.1	22.4

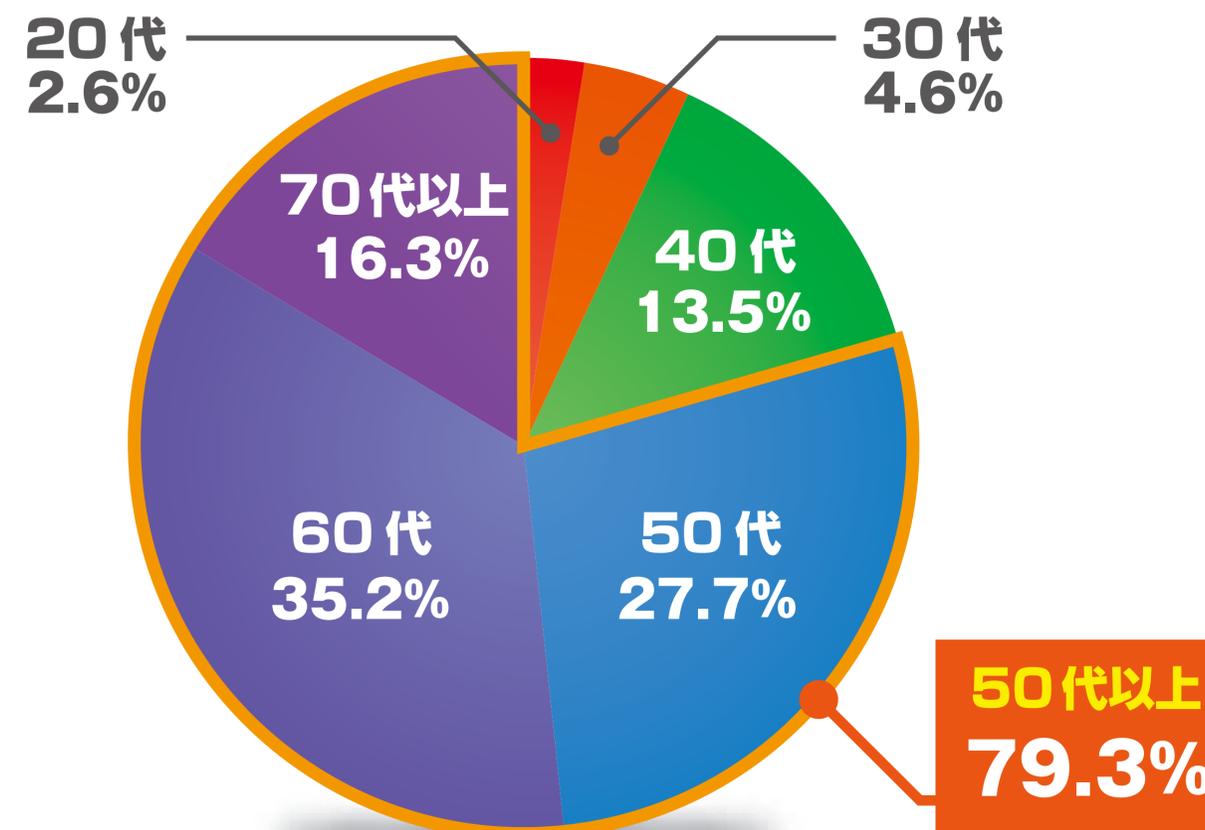
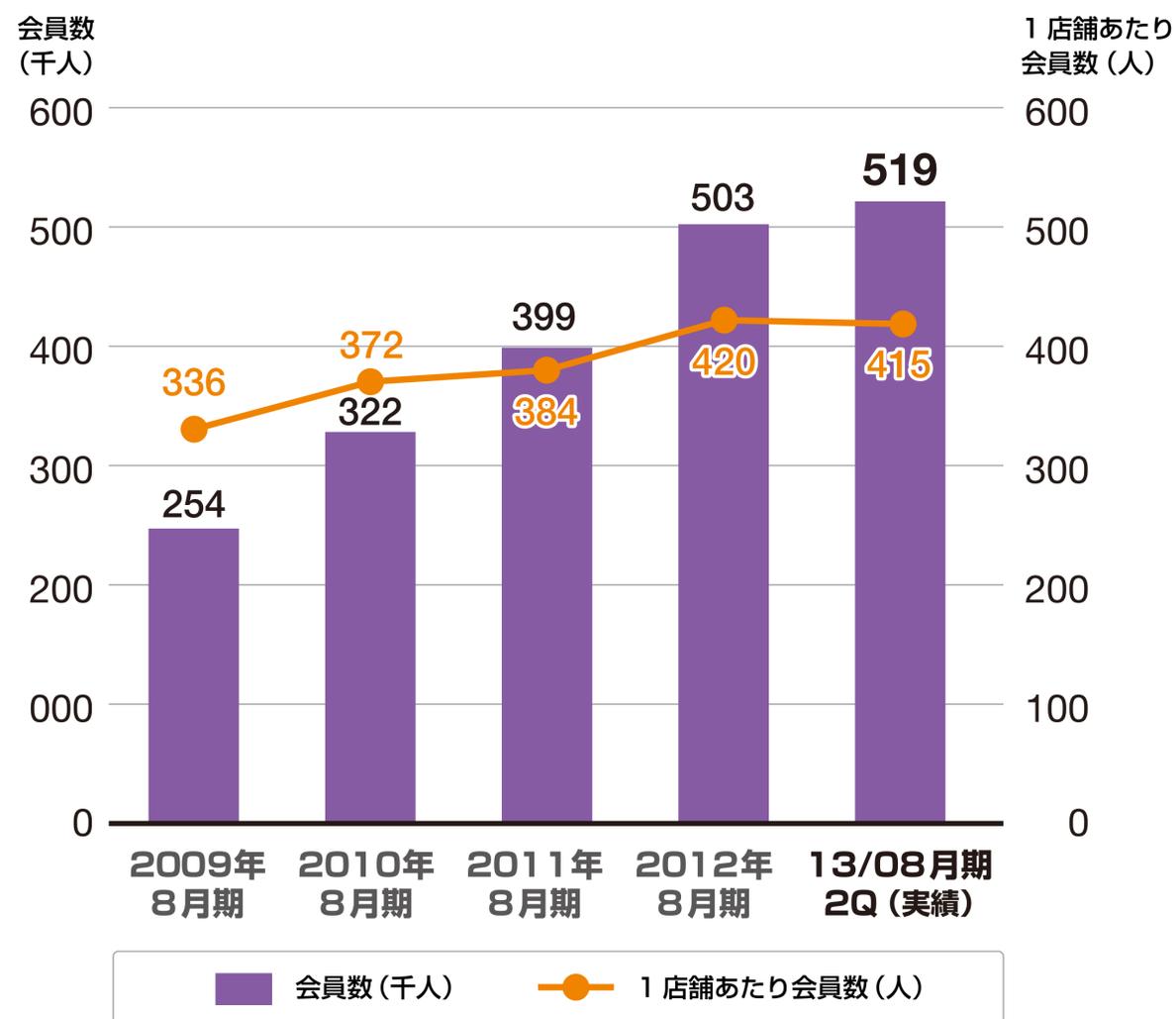
上期
53店舗出店

* 2013年4月17日時点、店舗数 1,265 店

カーブス総会員数51.9万人

会員数の推移

年齢構成



カーブス事業

下期の戦略

1. 積極出店継続

- 純増店舗数フィットネス業界 No.1を継続。

2. 既存加盟店の多店舗展開

- 加盟店業績好調により出店意欲が旺盛、加盟店をフォロー。

3. 店舗業績の向上

- サービス強化策による顧客満足度向上。
- 夏の TVCM など広告宣伝の積極投下。
- 次期に向けた新商品開発。

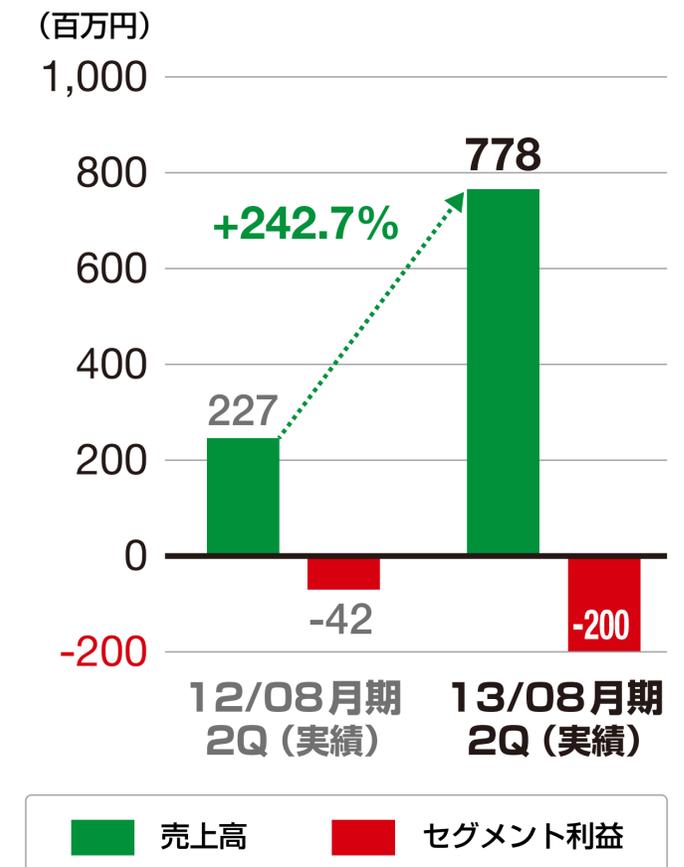
温浴事業

2013年8月期 第2四半期

セグメント別業績

セグメント別業績

	2012年8月期第2四半期		2013年8月期第2四半期		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	227	100.0%	778	100.0%	342.7%
売上原価	255	112.1%	955	122.8%	374.5%
売上総損失	△ 27	△ 12.1%	△ 177	△ 22.8%	—
販売管理費	14	6.5%	23	3.0%	164.3%
セグメント損失	△ 42	△ 18.6%	△ 200	△ 25.7%	—



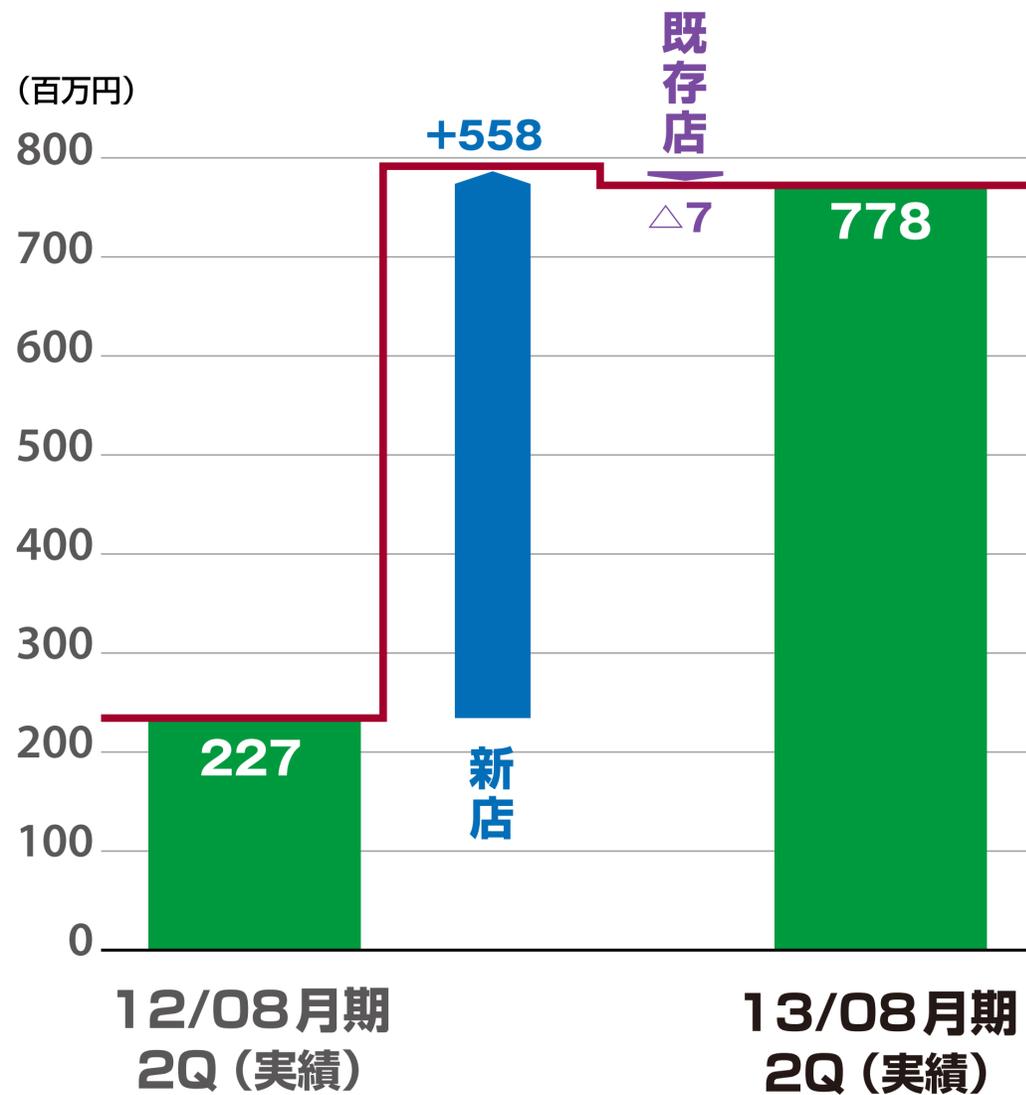
※百万円未満切捨て、%は小数点第2位で四捨五入

Point

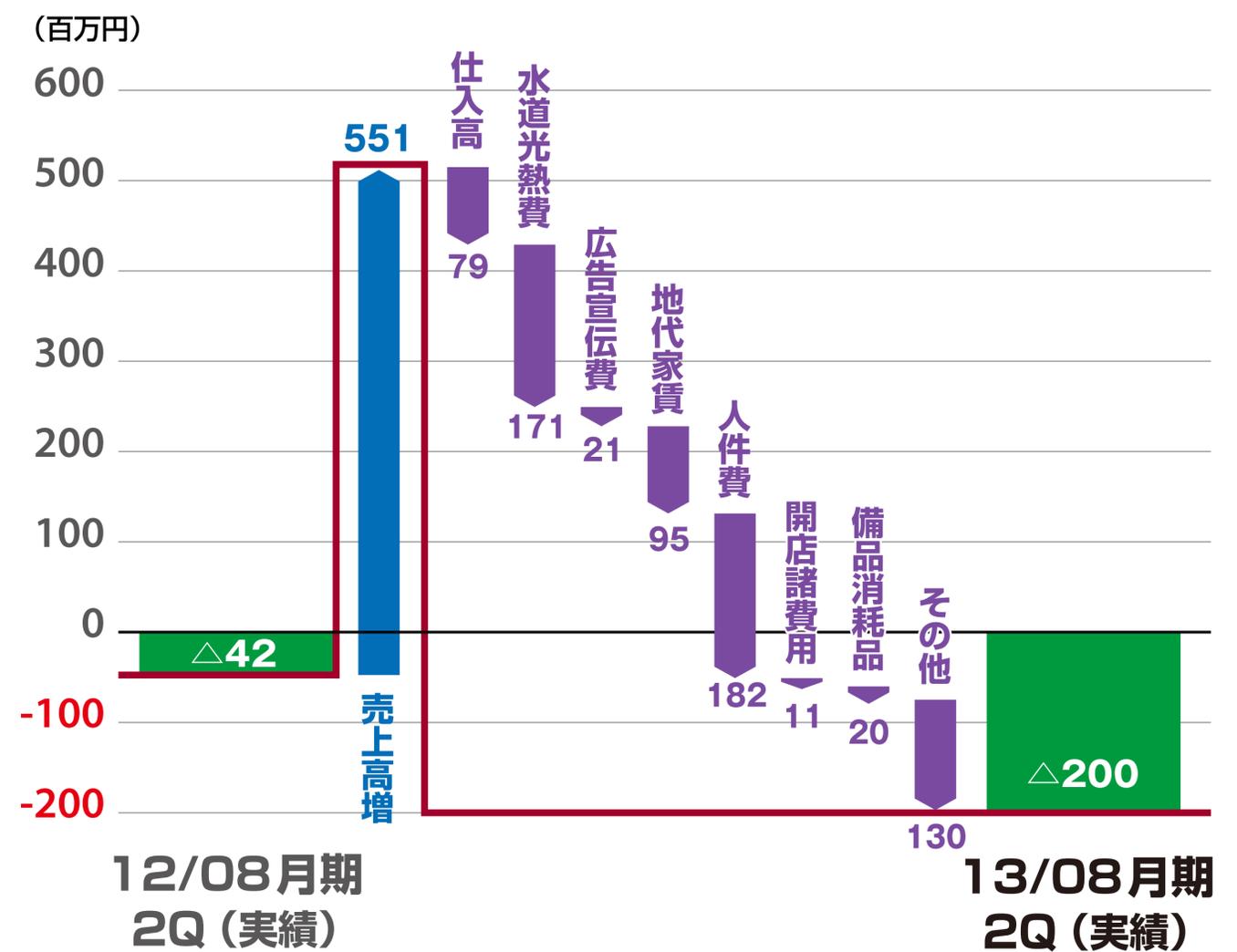
- ・ イオン志摩店出店 (福岡県)
- ・ コスト削減への道筋が立つ

水道光熱費の増加が影響。

売上高増減要因



営業利益増減要因



温浴事業

下期の戦略

1. 省エネ設備導入

○省エネ設備導入による水道光熱費の削減

- 1. コージェネレーション**
ガスを燃料に発電と給湯を同時に行う装置。
- 2. インバーター制御**
必要な時に必要最小限のエネルギーで運転する技術。
- 3. 電気温水器**
深夜電力を利用して湯を温めて昼利用する。
密閉式のため熱効率が良いことが特色。

2. 各店独自イベントの積極展開

<例> 東京健康ランドまねきの湯：週替イベント風呂／月替人工温泉等

<例> 群馬箕郷温泉まねきの湯：健康歌体操教室他、日替イベント実施

○新規のファン獲得を狙う

今後の戦略



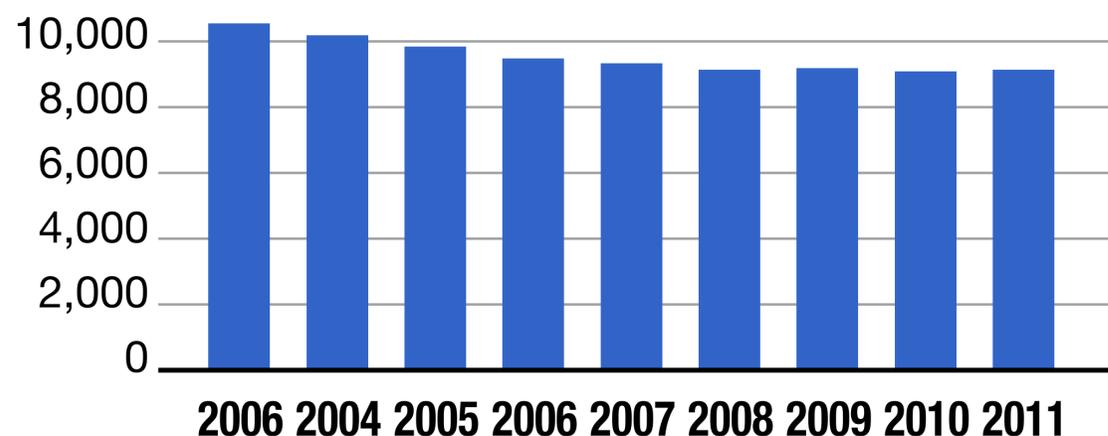
出店余地はまだあるの？

各事業で、次のように出店を推進します。

カラオケ

- 居抜き出店余地を開拓
- 建築出店

■ カラオケボックス施設数 (カラオケ白書 2012より)



- 都心へはワンカラを積極展開

カーブス

多様な出店スタイル

- ビルインタイプ
- ロードサイドタイプ
- ショッピングセンタータイプ

空中物件、駅前立地でなくても
出店可能!

FC加盟企業の
多店舗展開意欲旺盛!
(近年出店店舗の約8割が既存FCの増店)

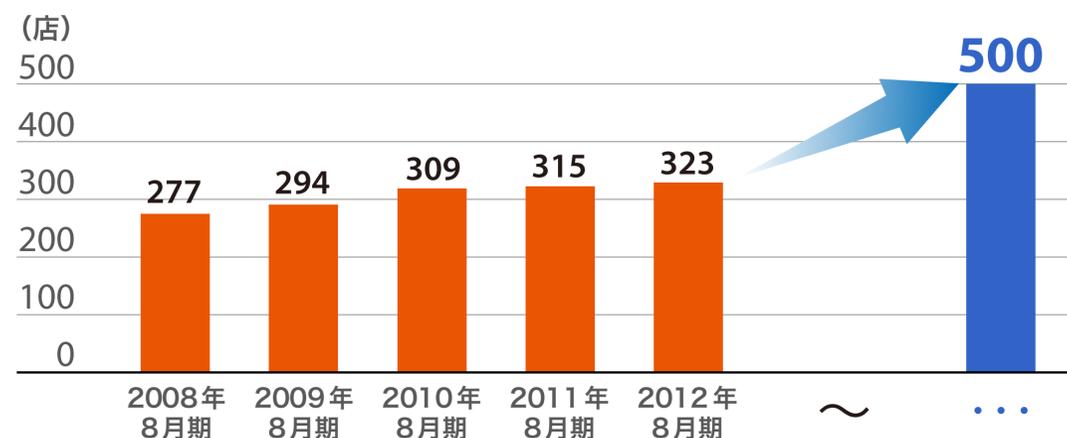


**売上高 1000 億円の
ロードマップは？**

グループ売上高 1,000 億円への出店計画

カラオケ事業

500 店舗 (直営・FC)
売上高 250 ~ 300 億円



カラオケ事業出店計画

カーブス事業

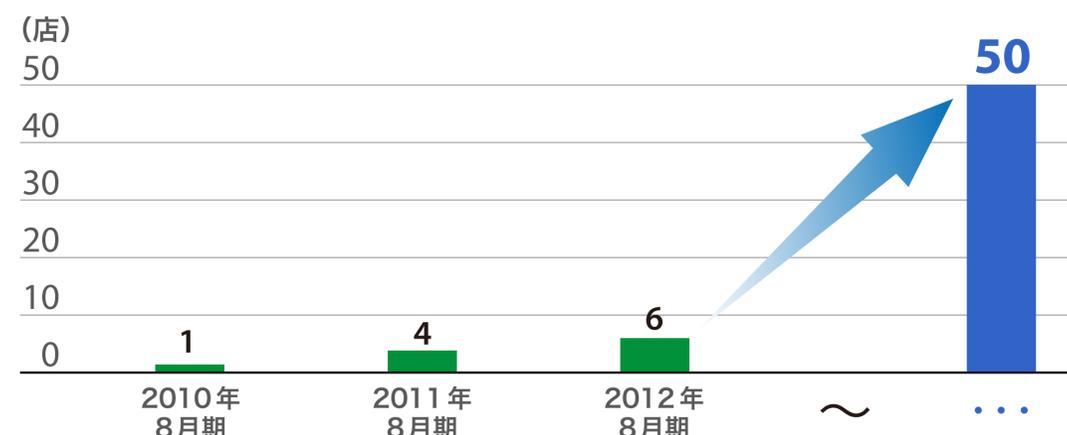
1,500 店舗 (FC・直営)
売上高 200 ~ 250 億円



カーブス事業出店計画

温浴事業

50 店舗 (直営)
売上高 100 億円

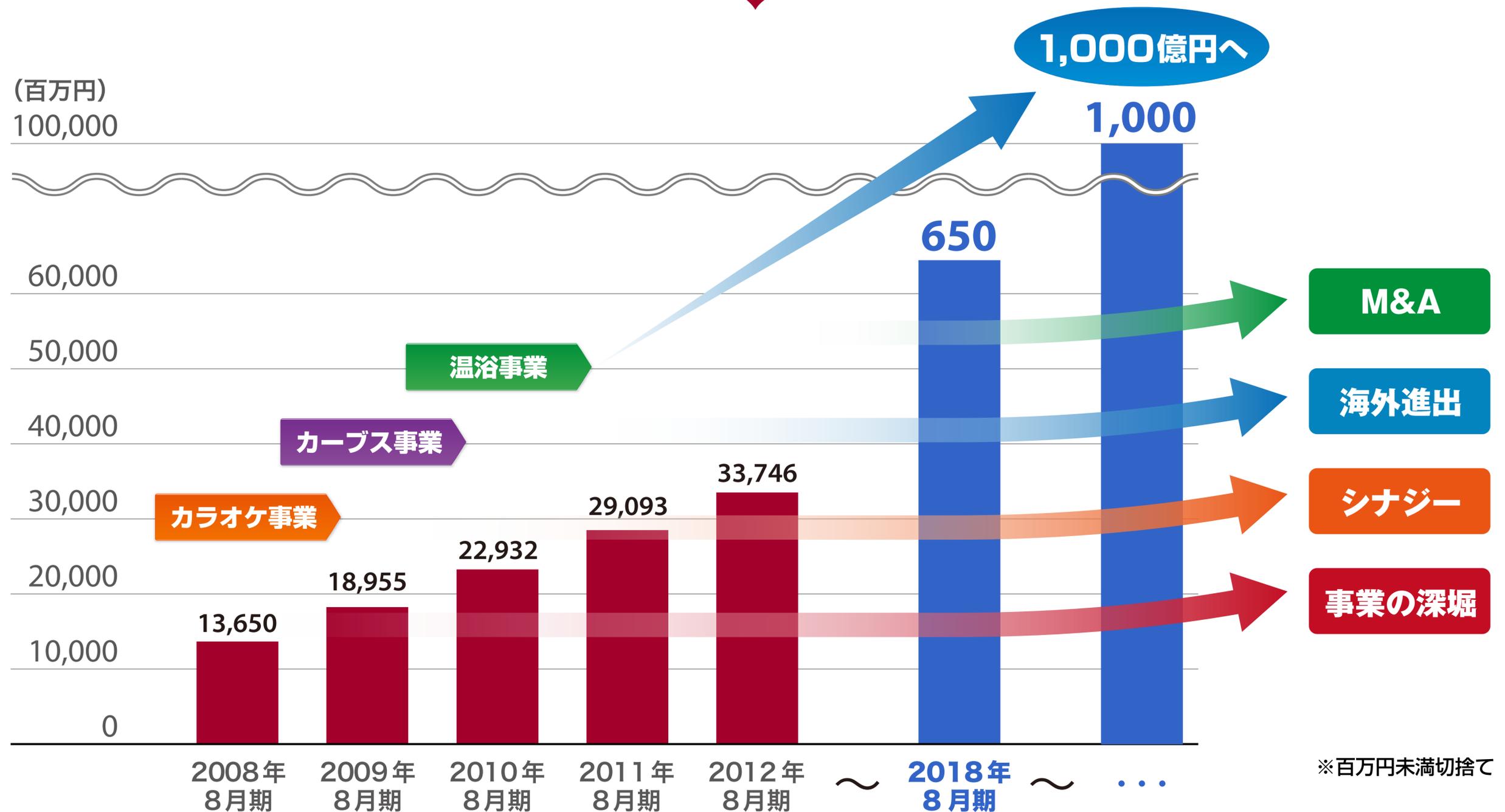


温浴事業出店計画

5年で売上高650億円



グループ売上高1,000億円への成長イメージ





**禁煙者を対象とする
賞与加算制度って？**

アベノミクスに賛同。
そしてアクティブシニア層に
向けた**健康推進企業**である
コシダカHDを
いっそう進化させるため。

株主還元

株主還元

対象

平成25年8月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株式を保有されている株主様

「A」「B」いずれかのコースをご選択いただけます。

A. まねきねこコース

☆日本全国のカラオケ本舗まねきねこ、
ひとりカラオケ専門店ワンカラでご利用頂ける株主優待券



ご保有株式数

100株	1,000円券	5枚
200株	1,000円券	10枚
300株～900株	100株ごとに5枚増	
1,000株以上	1,000円券	50枚

B. カーブスコース

☆カーブスオリジナルデザインのプレミアムワークアウトウェア

<オモテ>

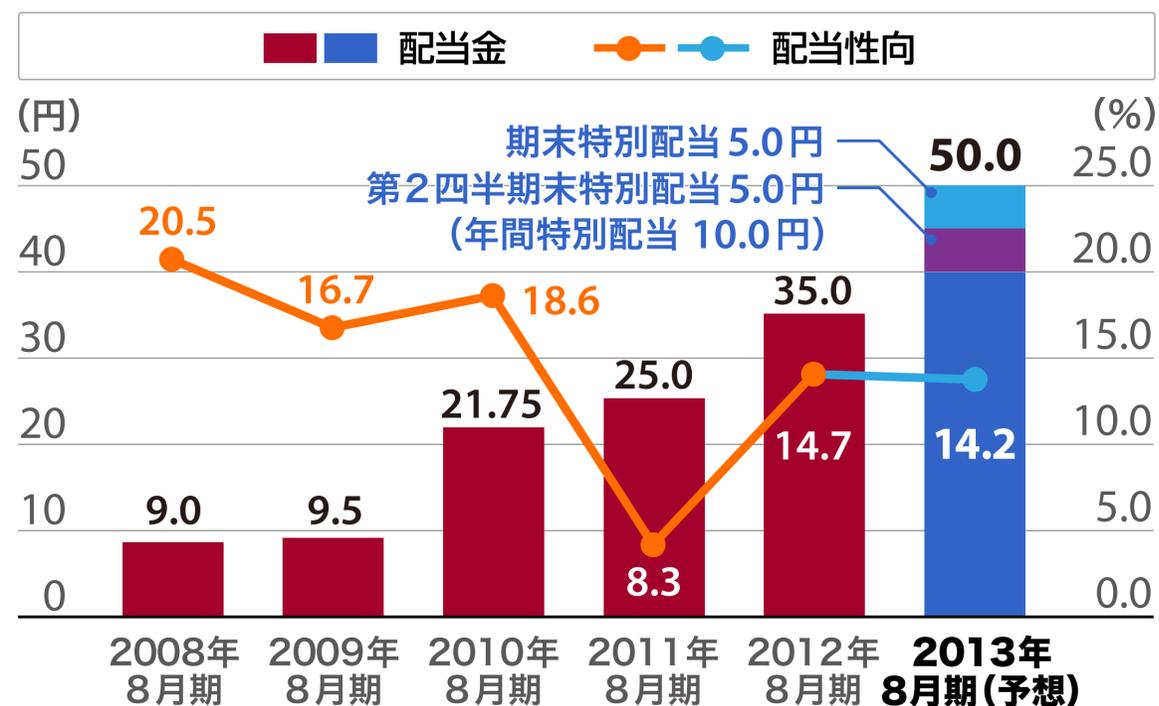
<ウラ>



ご保有株式数

100株以上の場合 一律1着

株主優待専用デザイン、製作された株主様限定商品です。フィットネス他、スポーツ時の着用に適した大量の汗をスピード消臭でき、繰り返し洗っても効果が持続する素材を採用しました。機能面だけでなく、女性らしさをアレンジしたデザインで、株主様専用のプレミアム感をお楽しみください。



6期連続増配 年間10円の特別配当 ※第2四半期末特別配当5円を含む

(円)

		2008年 8月期	2009年 8月期	2010年 8月期	2011年 8月期	2012年 8月期	2013年 8月期 (予想)
配当金 (円)	第2四半期末	—	1,900	2,900	5,000	17.50	(実績) 25.00 ^{※1}
	期末	3,600	1,900	5,800	5,000	17.50	25.00 ^{※1}
	合計	3,600	3,800	8,700	10,000	35.00	50.00 ^{※2}
1株当たり当期純利益 (円)		17,578	22,909	46,887	119,896	238.60	351.16
配当性向 (%)		20.5%	16.7%	18.6%	8.3%	14.7%	14.2%

※1 第2四半期末／期末特別配当5円を含む ※2 特別配当10円（第2四半期末／期末の合計）を含む

グラフ内の2011年8月期以前の配当金は、当時の配当金総額に対し現在（株式分割後）の発行済株式総数（9,600,000株）を元に算出した還元値です。

2011年9月1日付で1:400の株式分割を実施しております。

コシダカグループの 目指すもの

目指すもの

コシダカグループは「**既存業種新業態**」を開発していきます。

カラオケ事業

- アクティブシニア層開拓
- カラオケ=健康のコンセプト推進
- アジアへの出店
- ワンカラ事業のFC展開を推進
- 新サービス・新システムの考案・提供
- ビー・アンビシャス（社内社員独立制度）の加速

カーブス事業

- 日本中に運動習慣をひろげる『～筋トレを歯磨きに～』という最終目標に向かって
不断の改革・改善を継続
- 通販事業を強化
- マネジメント力の強化
- 現場社員の育成

温浴事業

- シニア・ファミリー層に特化した業態開発
- 省エネ運営の実現
- ノウハウを蓄積し、1店舗あたり入場者増、満足度向上を目指す。



▶ IRについてのお問い合わせ

株式会社コシダカホールディングス

TEL : 027-280-3371

e-Mail : i-koshidaka@koshidaka.co.jp

URL : <http://www.koshidakaholdings.co.jp>

本資料は、2013年8月期第2四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2013年4月18日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。